

創立90周年記念誌



東京都立豊島高等学校

校旗・校章・校歌



校 旗



校 章

『校 歌』

作詞 佐々木信綱
作曲 山田 耕 笹

一 流れは清し千川 岸の桜かがよふ

相むつぶ 心 うるわしく

至誠に生き至誠を胸にいざわれら共に

豊島高校の光を添えむ

二 丘の辺みどり色こく 空は遠く澄み澄む

相きそふ 若さ すこやかに

正義に生き正義を胸にいざわれら共に

豊島高校の誉れを挙げむ

三 雲井に仰ぐ富士の嶺 理想高くかけつ

勤しみて 学び たゆみなく

希望に生き希望を胸にいざわれら共に

豊島高校の栄をまさむ

全 日 制 教 育 目 標

教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- ① 校是「至誠」に鑑み、何事においても真心や誠実さを持って行動できる態度を育む。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能のもとに、主体性をもって学習に取り組み、課題を解決する学力を育む。
- ③ 他人に対して思いやりを持ち、熟慮して行動できる、品のある豊かな心を育む。
- ④ 文武両道を旨とし、基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健康な体を育む。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 文武両道の校風の下、いかなる時にも至誠の精神を持って努める人間を育成する。
- ② 学習意欲を涵養し、自発的な学習活動を奨励する。
- ③ 明確な目標意識を持たせ、自己開発・自己実現の能力を育成する。
- ④ 真理を探究する科学的な態度を養い、創造的な思考力と判断力を育成する。
- ⑤ 礼儀と規律を大切にした学校生活の中で規範意識を培い、社会の一員であることの自覚を促す。
- ⑥ 部活動や学校行事、ホームルーム活動を通して、豊かな個性と創造力を伸長するとともに自己表現の能力を養成する。
- ⑦ 健康や体力の意識を高め、労働や創造する意義や喜びを体得させて正しい勤労観と職業観を育成する。
- ⑧ 地域社会および家庭との連携を図りながら、校外における活動にも積極的に参加させ、社会貢献の精神を育成する。
- ⑨ 端正にして清潔な生活習慣を身に付けさせるとともに、健康と安全を重んじる精神を養う。
- ⑩ 平日の授業時間の工夫や通年にわたる朝学習の実施等を通じて、土曜日の部活動等の時間を確保する。

定 時 制 教 育 目 標

教 育 目 標

- ① 校是「至誠」の下に、何事にも誠心誠意全力を尽くす生徒を育成する。
- ② 学校生活に主体的に取り組み、一段高い進路希望を実現するとともに、実社会で生きる力を身に付ける。
- ③ 互いの人権を尊重し人格を認め合う人間関係の形成に努める。



全日制 入学式・卒業式



全日制 体育祭





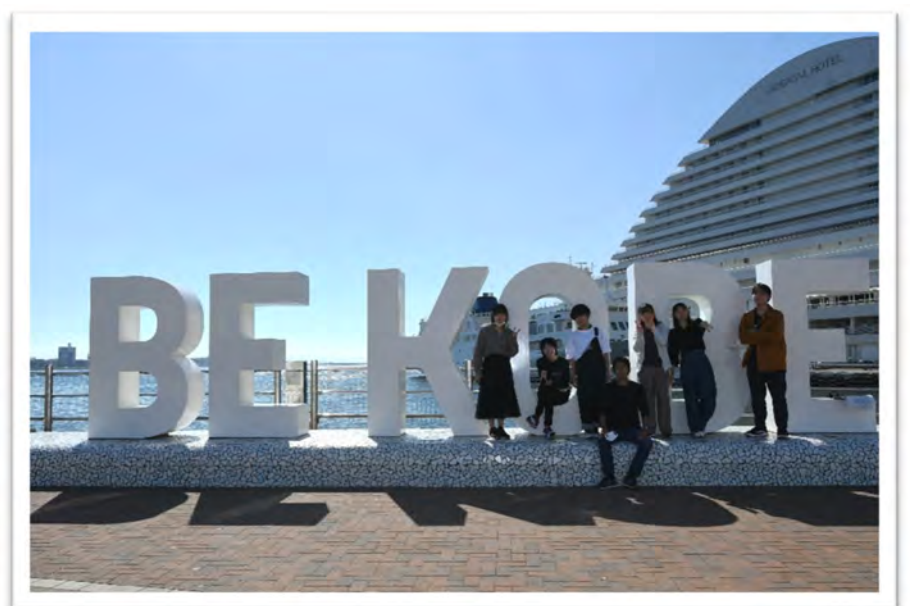
全日制 豊島祭





全日制 歩こう会・遠足・修学旅行





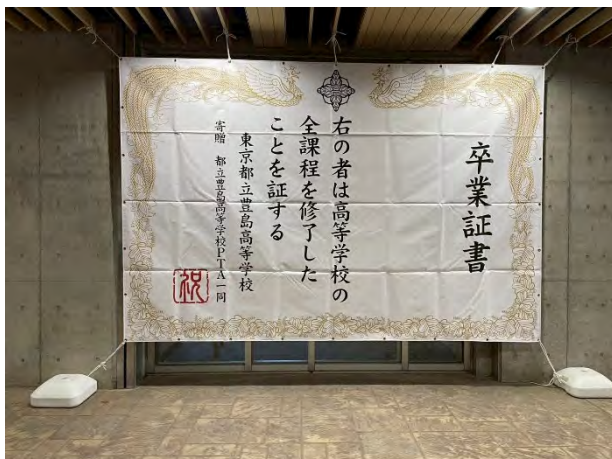
全日制 豊島の生活



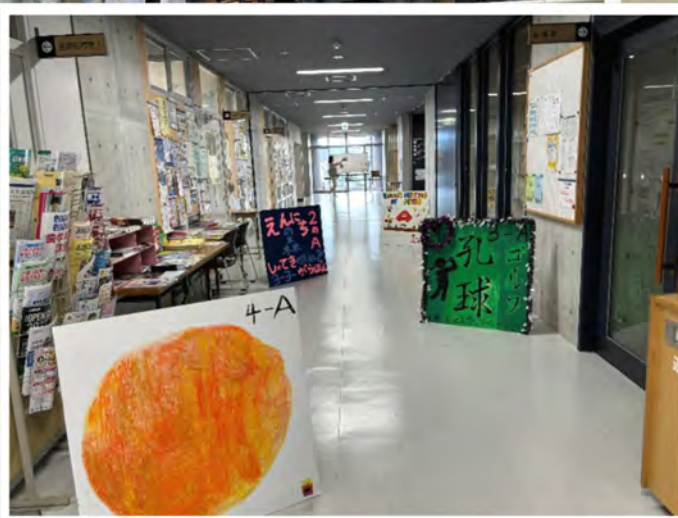


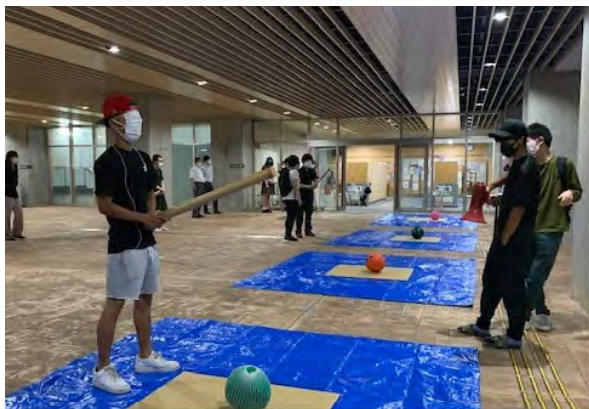
PTA 活動





定時制 学校行事







旧校舎の体育施設と仮設校舎と新校舎

(令和 5 年撮影)

目 次

表紙・・・・・・・・	新校舎 航空写真
P 1	校旗・校章・校歌
P 2	教育目標
P 3	校舎正面・桜
P 4 ～P12.....	全日制写真
P13～P14 ...	P T A活動写真
P15～P16 ...	定時制写真
P17.....	新校舎を建設中の写真
P18.....	目次
P19～P22 ...	校長、副校長（全・定）
P23～P26 ...	P T A会長、同窓会長（全・定）、生徒会長（全）
P27～P29 ...	元校長
P30～P31 ...	元副校長、元室長
P32～P38 ...	元教職員
P39.....	定時制の時間帯 正門・校舎
P40～P51 ...	全日制課程教育活動
P52～P62 ...	定時制課程教育活動
P63.....	豊誠館 アリーナ・柔道場
P64～P69 ...	職員在籍一覧
P70.....	編集後記
裏表紙.....	正門 桜・石碑

至誠の心で

紡がれた 90 年

校 長 江 川 徹

創立 90 周年を迎えるにあたり、本校を支えてくださった卒業生の皆様、保護者の方々、地域の皆様、そして歴代の校長先生や教職員の皆様に、心より感謝申し上げます。

本校は、昭和 11 年に東京府立第十高等女学校として開校しました。また、昭和 17 年に東京府立清明女学院の夜間部が開校し、昭和 18 年に同じ学校に再編され、以来長きにわたり教育の場としての役割を果たしてきました。

昭和、平成、令和と時代が移り変わる中で、多様な学びを提供してきた歴史を振り返り、改めてその重みを認識しています。

現在、豊島高等学校は、全日制と定時制の二つの課程を有する学校として、将来に夢を抱き、さまざまな背景や経験をもつ生徒が同じ校舎で学び合っています。全日制は 8 クラス 3 学年、定時制は 1 クラス 4 学年という編成の中で、各教室や豊誠館（体育館）、グラウンド、図書館など、さまざまな場所で生徒が学び、活動する姿が見られます。これらは全て、豊島高等学校が「学び」と「人と人とのつながり」が重なり合う、温かい場であることの証しであるともいえます。

さて、学校を取り巻く環境は、刻一刻と大きく変化しています。現行学習指導要領が令和 4 年度から年次実施され、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が進められている中、次の学習指導要領の改訂に向けて、生徒一人一人の良さや可能性を生かす「個別最適な学び」と、他者と協働しながら共に高め合う「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが求められています。本校でも、日々の授業改善を通じて、知識や技能を習得するだけでなく、自ら問いを立て、意見を交わし、考えを深めていく学びへと転換を図っています。

また、総合的な探究の時間において、生徒が

自分自身の興味・関心に基づいてテーマを選び、大学や企業などの方々から学びながら、社会の課題と向き合う機会を設けています。自ら調べ、まとめ、発表する経験を重ねる中で、生徒は、自分の将来を主体的に描こうとする力を身に付けています。こうした経験が、やがて卒業後の進路選択や、社会で活躍するためのきっかけとなることを願っています。

学校生活の大きな柱である学校行事や部活動においても、生徒が主体となって企画や運営を担っています。全定併置校という限られた条件の中で、体育祭や文化祭では、生徒たちが自ら企画を考え、周囲と調整し、時間と活動場所の制約の中で最良の形を探っていきます。どのようにすればより充実した活動となるのかを考え、クラスメイトと意見を交わしながら準備を進めていく過程そのものが、主体性を育む豊かな学びの機会となっています。活動に打ち込む生徒の姿は、周囲の仲間にも良い刺激を与え、学校全体を盛り上げてくれています。部活動でも、努力の末に得る喜びだけでなく、敗北や葛藤といった経験を通して得る学びが、仲間との絆をさらに深いものにしています。

本校の校是である「至誠」には、人や物事にまごころをもって向き合い、自分の言動に責任をもって生きてほしいという願いが込められています。今を生きる生徒にも、この「至誠」の精神を、自分なりの形で受け止め、責任をもって行動することの大切さを知ってほしいと願っています。

社会は今、大きく動いています。グローバル化が急速に進む中で、デジタル機器の活用や生成 AI といった新しい技術など、これまで経験したことがないものが進展するなど、私たちの生活に大きな影響を与えています。答えのない課題に向き合わなければならない時代だからこそ、自分で考え、判断し、周囲の人々と対話を重ねながら、より良い選択肢を探し続ける力が求められています。本校の生徒には、学びや様々な体験を通じて、そのような力を育み、どのような状況にあっても他者を尊重し、自分らしく生きていくことのできる人になってほしいと思います。

私たち教職員一同は、校是「至誠」をよりどころに、生徒一人一人の可能性を信じて寄り添

いながら、より魅力ある学校づくりを進めてまいります。そして、豊島高等学校で学んだことが、生徒にとって、将来困難な壁に当たったときにも歩み続ける力となることを願ってやみません。

結びに、本校の歴史を築いてこられた全ての皆様に、あらためて敬意と感謝を申し上げますとともに、豊島高等学校がこれからも、生徒にとってかけがえのない学びと出会いの場であり続けることを心から祈念いたします。

【本校のスクールミッション】

「校是『至誠』のもと、何事にも誠心誠意全力を尽くす生徒を育成すること、学校生活に主体的に取り組む、実社会で生きる力を身に付けること、互いの人権を尊重し人格を認め合う人間関係の形成に努めること」を教育目標とし、キャリア教育を充実させ、誠実に行動する生徒を育成します。



90 周年を迎えて

全日制副校長 工 藤 勝 彦

創立 90 周年という節目を迎えた今、胸に込み上げる思いは言葉に尽くせません。90 年という長い歳月は、数え切れないほどの物語を紡ぎ、幾多の希望と挑戦を重ねながら、この学校を今日まで導いてきました。その歩みの一つ一つには、子どもたちの笑顔、先生方の情熱、そして地域の皆様の温かな支えがありました。こうして記念すべき日を迎えられることは、決して当たり前ではなく、積み重ねられた努力と信頼の証です。この歴史を振り返るとき、私たちは誇りを胸に、未来への希望をさらに強く抱かずにはいられません。

私は、14 年前までこの学校で 10 年間、教員として子どもたちとともに過ごしました。教室で交わした言葉、運動場で響いた笑い声、行事で見てくれた子どもたちの輝く瞳——その全てが、今も鮮明に心に残っています。あの頃、地域の皆様や保護者の方々に支えられながら、子どもたちの未来を信じて共に歩んだ日々が、私の教育観を形づくりました。そして今、副校長として再びこの学校に立ち、90 周年を迎えられることに、深い感謝と誇りを感じています。私にとって、この学校は単なる職場ではなく、人生の一部であり、希望を育む場所です。

この学校の歴史は、地域とともにありました。地域社会の温かな理解と協力、保護者の皆様の深い信頼、そして卒業生の皆さんの活躍があつてこそ、私たちは教育の使命を果たすことができました。卒業生の皆さんの歩みは、この学校の誇りです。社会のさまざまな場で輝く姿は、後輩たちにとって何よりの励みであり、未来への希望です。どうか、これからも自分の道を信じ、挑戦を続けてください。そして時折、この学校で過ごした日々を思い出し、心の支えにいただければ幸いです。皆さんの存在が、この学校の歴史をさらに豊かにし、次の世代に希望の光を届けています。

今を生きる生徒の皆さんに伝えたいことがあります。それは、「あなたの可能性は無限である」ということです。学びは、単なる知識の習得ではありません。人として成長し、社会に貢献するための力を育む営みです。時には壁にぶつかり、悩むこともあるでしょう。しかし、その一

歩を踏み出す勇気こそが、未来を切り拓く力になります。仲間とともに挑戦し、失敗を恐れず、夢に向かって歩み続けてください。皆さんの努力と情熱が、これからの時代をより良いものにしていくのです。どうか、自分を信じ、希望を胸に、光り輝く未来を描いてください。

私たちは、これからも「自ら考え、行動する力」を育む教育を大切にしていきます。社会は今、急速に変化しています。ICT の進展、グローバル化、多様性の尊重——こうした変化に対応しながら、子どもたちが自分の夢を描き、その実現に向けて努力できる環境を整えることが、私たちの使命です。知識だけでなく、思いやりや協働の心を育み、どんな時代にも希望を失わない人材を育てる。それが、90 年の歴史を受け継ぐ私たちの誇りであり、未来への約束です。私たちは、子どもたちの夢を支え、その夢が社会を照らす光となることを信じています。

90 周年という節目は、過去を振り返るだけでなく、未来への扉を開く瞬間でもあります。教員として過ごした 10 年間、そして今、副校長として迎えるこの日——その全てが、私にとって教育の尊さを教えてくれました。これまでの歩みに感謝しながら、私たちは新たな挑戦を続けます。地域とともに、保護者とともに、そして子どもたちとともに、次の 100 年に向けて力強く歩み出すことを、ここにお誓い申し上げます。希望を胸に、誇りを抱きながら、未来への道とともに切り拓いていきましょう。



創立 90 周年記念に寄せて

定時制副校長 佐々木 輝

本校が創立 90 周年という節目を迎えることができましたことにつきまして、これまで本校を支えてくださった地域の皆様、保護者の皆様、そして卒業生の皆様に深く感謝申し上げます。

本校定時制課程は、昭和 17 年 4 月に前身である「東京府立清明女学院夜間部」として開設されました。「清明」とは二十四節気で、春先の清らかで生き生きとした様子を表した「清浄明潔」という語を略したもので、中国の古典「礼記」に由来しています。同 18 年 4 月には「東京府立第十高等女学校第二部」に編成替えとなりました。（第一部＝昼間部は同 11 年に開設されているため、令和 8 年に創立 90 周年を迎えることになります）

その後、戦後の学制改革に伴い、昭和 23 年 4 月には新制「東京都立第十高等女学校定時制課程」となりました。同 24 年には男女共学となり、同 25 年に「東京都立豊島高等学校定時制課程」に改称され、現在に至っています。

本校定時制課程には、多様な生徒が在籍しています。そのため、学びの目的などは一人一人異なりますが、共通しているのは「学びたい」という強い意志です。少人数の中で学びたいという生徒、昼間働きながら夜間は学校で学びたいという生徒、もう一度高等学校で学び直したいという生徒、外国から来て日本語を学びながら高等学校卒業を目指す生徒など、それぞれの人生の中で本校を選び、学びに向き合う姿は、私たち教職員にとって大きな励みであり、教育の原点を思い起こさせてくれます。

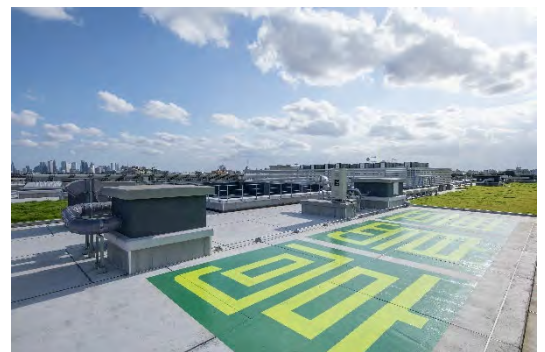
こうした多様性は、教室の中に豊かな学びの空間を生み出します。異なる価値観や経験を持つ生徒同士が互いに尊重し合い、支え合いながら成長していく姿は、まさに本校の誇りです。私たち教職員は、生徒一人一人の歩みに寄り添いながら、安心して学べる環境づくりに努めています。

副校長として日々感じるのは、「自立することの大切さ」です。自立とは、単に一人で生活することではなく、自分の意思で考え、選び、行動する力を育むことです。多様な生徒がそれぞれの課題に向き合いながら、自分自身の力で未

来を切り拓こうとする姿は、教育の本質を体現しているように思います。学校はそのための土台であり、学びはその力を育てる手段です。

10 年後の 100 周年に向けて、本校定時制課程はさらに進化し続けます。教育環境の充実、個別支援の強化、地域との連携を深めながら、一人一人の生徒に寄り添い、誰もが自分らしく学べる学校を目指してまいります。

今後とも、本校定時制課程への温かい御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



明るく開放的で

穏やかな豊島

高等学校

在ります。創立 100 周年に向け、東京都立豊島高等学校の益々の御発展と、教職員の皆様、生徒の皆さんの御活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和 7 年度全日制課程 PTA 会長
高 橋 加 奈 子

この度は、東京都立豊島高等学校創立 90 周年、誠におめでとうございます。

保護者を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

私が最初に本校を訪れたのは、令和 4 年 11 月、長女の学校説明会に付き添った時のことでした。何校かの学校説明会に足を運んだものの志望校を決め兼ねていた長女が、初めて「この高等学校に行きたい」と言ったことを今でも思い出します。

豊誠館で開催された説明会は、生徒のみで保護者は同席出来ませんでしたが、長女は、当時の学校長 大山敏先生のお話に感銘を受けたと申ししておりました。その後の校舎見学では、校舎が新しく綺麗であるのは言うまでもなく、校内に流れる明るく開放的で穏やかな空気に、長女のみならず、私も心を動かされました。

令和 5 年 4 月の入学式、真新しい制服に身を包み、誇らしげな表情で正門をくぐる長女を、本校のシンボルとも言える枝垂れ桜が立派な花を咲かせ、温かく出迎えてくれました。

三年間 PTA 役員として学校に足を運び、学校行事にも参加させていただきました。

昨年度、体育祭では、生徒たちにスポーツドリンクを手渡し、豊島祭では、PTA コーナーで、来場者にドリンク配布とお菓子すくいを行いました。生徒たちからは、「ありがとうございます」という言葉と笑顔が溢れます。

入学前に感じた、明るく開放的で穏やかな空気は、本校で学校生活を送る生徒たち、生徒たちを支えてくださる教職員の皆様によってつくられたものなのだとことを実感いたしました。

PTA では、今後も、生徒たちの高等学校生活がより一層充実したものとなるようお手伝いしていきたいと思っております。

東京府立第十高等女学校から、諸先輩方が連綿と受け継がれてきた伝統の上に現在の本校が

90 周年を 迎えて

全日制課程 柏豊会（同窓会） 前会長
鈴木 優子

豊島高等学校 90 周年心よりお慶び申し上げます。昭和 11 年創立からはや 90 年、伝統を受け継ぎ発展に力を注いで頂いた教職員、保護者また地域の方々の御尽力と存じ改めて感無量です。私の入学当時、千川からぐりと見渡しますとまだまだ畑が目立ったのびやかな雰囲気です。少し下がった所に団地が一棟建っているのが見えました。その後気がつくといつの間にか 30 棟余りが建設、そして 10 年前には校舎として建て替えられ緑が大変少なくなり時代の流れを感じます。

入学当時、8 クラスで 3、4 組が女子クラス、私は 4 組でしたのでこの 1 年間は女子校の様な雰囲気でした。

初代の野間校長先生は卒業生に大切な教育方針として至誠の 2 字をおくりその後至誠は豊島高等学校の校是となり現在に受け継がれています。また、もう一つの教育方針としての清整作業に力を入れ校内残らず掃除をし、開校後わずか 1 ケ月で各方面から注目され「掃除の豊島」の伝統の礎となりました。

3 組は大人しく成績も良い生徒が多く、私がいた 4 組は活発で個性派揃いと言われ、いつも 3 組と比較されお説教されたものです。しかし 4 組は清整の豊島の名に恥じない掃除好き、廊下のガラスもそれー！とばかり休み時間を返上して磨き上げたものでした。

この頃の部活も文武両道華々しく活躍し、日々の練習も激しく熱心でした。その後の長い人生からみてもこのわずか 3 年間の級友や部活の先輩・後輩の強い絆が後の人生にどれほどの励ましになったかと思います。当時は就職する生徒も多く、高 2 の時点で人生が大きく左右されてゆきました。実際はまだ若くてその事の重大さがわかっていなかったと思います。私も隣席の友人が S 会社を受けると言うのでじゃあ私もと受け結局 S 社に 10 年の勤続となりました。懐かしい思い出です。

私が 2 年生の頃、同窓会が「柏豊」と決定され 3 年生には 25 周年記念のプールが完成して一週間だけ泳いだのが忘れられません。そして今 90 周年を迎える事が出来、多くの学校の統廃合が続く中、大変嬉しく思います。

同窓会とは次女の豊島への入学から始まります。私が卒業生とわかり PTA の役員に推されてから年一回の（財）豊島会（軽井沢の土地の件）に参加、娘の卒業と同時に同窓会幹事という経過でした。会には一期生の方も出席され緊張感あふれる意義深く伝統を感じる時間でした。

その軽井沢の土地は 60 周年の頃一部を教会に売却、80 周年頃に全てを売却し、その資金で毎年広く都民に呼びかけ講演会等活用しています。

令和 6 年には 20 年ぶりに紙幣のデザインが一新、一万円札の新たな肖像に渋沢栄一がなりはや 2 年を迎えます。「日本資本主義の父」「福祉の草分け、創始者」とも言われる渋沢は元氣旺盛な実行の人であると共にどんな時でも目の前にいる 1 人に全てを注ぐ至誠の人だったと言われます。また、タゴール、孫文、グラント大統領等と友好を結ぶ対話の名手でもありました。彼の「世に至誠ほど偉力あるものはない」との言葉通り、縁する人に誠実を尽くし抜くというのが人間外交の真髄であると。

また、彼の生涯から時代を創るリーダーの元氣、誠実さを学び私達豊島生も至誠つまり誠実を尽くし共に歩んで行きたいと思っています。

昨年は戦後 80 年、東日本大震災から 15 年の年、またイスラエル・ガザ地区問題などがかかえ、世界の経済も不安定が続きますが、日本では大阪関西万博があり前回は「太陽の塔」今回はミャクミャクが人気のバビリオンでした。また、ノーベル賞に生理学・医学賞に大阪大学坂口志文氏、化学賞に京都大学北川進氏が受賞され、大谷翔平選手 MLB 史上初記録という嬉しいニュースもありました。

豊島高等学校の文武両道精神で至誠を尽くし、温かい心と真心でこれ迄受けた学校、家庭、社会（地域）教育を生かし同窓会としても仲良く交流をもちながら誇りをもって不易流行の理念で伝統をつなげていきたいと思っています。目の前に両手を広げて待っている記念すべき 100 周年を目指して…!!

創立 90 周年

記念に寄せて

定時制課程 清明同窓会 会長
中 村 陽 一

本校の創立 90 周年を心よりお祝い申し上げます。また、記念誌の発刊にあたり、定時制清明同窓会を代表して一言御挨拶を述べる機会を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

思えば、90 年という歳月は、本校が時代の波を乗り越え、幾多の困難を克服しながら、脈々と歴史を紡いでこられた証です。これもひとえに、創設者をはじめ、歴代の教職員の皆様が、生徒一人一人の個性を尊重し、情熱を注いでこられた賜物にほかなりません。そして、常に本校を支え続けてくださった地域社会の皆様の御理解と御協力に、深く敬意を表する次第でございます。

私たち同窓生も、この学び舎で青春の一ページを刻みました。校舎のあちこちに、部活動に汗を流したグラウンドに、仲間と語り合った教室に、かけがえのない思い出が鮮やかに蘇ります。先生方の温かい御指導、厳しさの中に愛情が感じられた教え、そして共に笑い、励まし合った友人たちの存在は、今も私たちの人生を支えるかけがえのない財産です。

社会に出てからも、本校で培った「至誠」の精神は、私たち同窓生一人一人の支えとなり、各界で活躍する原動力となっています。同窓会は、そうした同窓生の絆を深め、母校のさらなる発展に寄与することを使命として活動してまいりました。今日まで築き上げられた伝統を次世代に繋ぐため、これからも母校と在校生の皆様に応援していく所存です。

90 周年という節目を迎えた今、母校は新たな歴史を刻もうとしています。これからの時代を担う若者たちには、この 90 年の歴史が育んできた学びの精神を受け継ぎ、未来へ向かって力強く歩いてほしいと願っています。

結びとなりますが、本校の輝かしい未来と、教職員の皆様、在校生の皆様、そして同窓生の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



九十周年を振り返って

全日制 生徒会長 和久 唯社

都立豊島高等学校は創立九十周年を迎えました。在校生を代表して、この節目の日に心からお祝い申し上げます。

九十年の歴史とは数え切れない青春の積み重ねです。授業で夢や将来について語り合った時間や部活動で仲間と共に流した汗、行事で声を枯らすほど応援した瞬間など、その一つ一つが豊島高等学校を形づくってきました。そして私たち在校生もまた、この校舎で日々の生活を送りながら自分の青春を確かに刻んでいます。悩みや壁にぶつかることもあります、仲間と支え合い乗り越えたときの喜びや達成感は何にも代えがたい宝物となり心に残り続けます。

やがて私たちの青春も過去のものとなります。しかしその経験は消えることなく、未来の後輩たちが歩を進めるための原点となるのではないのでしょうか。今日までの軌跡はやがて誰かの背中を押す光となり、世代を超えて受け継がれ、伝統はさらに深く、鮮やかな輝きを増していきます。過去から現在へ、現在から未来へと続く確かなつながりこそが、豊島高等学校を九十年から百年、そしてその先へと導く原動力となります。

この九十周年は終着点ではなく、新たな出発点です。私たちは仲間と共に夢を描き、挑戦を重ね、その歩みを未来へと刻んでいきます。今私たちが築いている青春の一瞬一瞬がこれからの豊島高等学校の礎となり、未来の豊島高等学校を形作っていきます。この学びの場で育まれた友情や努力は私たち自身や学校の伝統としてはもちろん、学校だけでなく地域社会にも生き続けるでしょう。

ここまで豊島高等学校を支えてくださった先生方、保護者の皆様、そして地域の方々に心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、この九十年の歩みは可能となりました。この記念すべき節目を全員で祝い、さらなる発展と未来への飛躍を心から願っています。

伝統と新たな風

全日制 元生徒会長 岡崎 愛麻音

この度、豊島高等学校は創立九十周年を迎えました。私自身この大きな節目に携わることができ、とても嬉しく思います。昭和11年に本校が誕生して以来、地域の方々や保護者の皆さま、そして多くの卒業生の温かな思いに支えられてきたからこそこの歩みを重ねることができたのだと思います。

時代は大きく移り変わりこの十年間では元号が「平成」から「令和」に改められました。本校では令和3年に校舎が全面改築され、清潔で明るい校舎となりました。

しかし、このような変化の中でも、誠実さ、思いやりを育むことを重視する「至誠」の精神は変わることなく受け継がれています。特に「歩こう会」は、今も変わらず生徒にとって大切な行事です。仲間と声を掛け合いながら長い道のりを歩く中で絆を深めることができる、私にとっても特別な行事の一つです。ぜひ創立百周年を迎える際にも、伝統行事として未来の豊島生に残してほしいと思っています。

また、体育祭や文化祭といった学校行事も、生徒主体で企画・運営を行っています。体育祭では、生徒たちが中心となって競技内容から進行までを考え、新しく整備されたグラウンドで、全力で取り組みました。文化祭では、舞台祭から後夜祭まで一人一人が一丸となって準備を進め、来場者全員に楽しんでもらえるよう力を注ぐことができました。

このように九十年という長い歳月の中で、多くの先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎつつ、今を生きる私達の新しい風が加わり、豊島高等学校はいまも発展しています。その中で、私自身も先輩方に恥じぬよう残りの学校生活を過ごすとともに、十年後は卒業生として、誇り高き母校と関われることを願っています。

一段高い進路希望と主体性の 実現を目指して

元校長 大山 敏

(現東海大学菅生高等学校 校長)

平成30年度から令和4年度まで5年間、旧校舎と仮校舎と新校舎の三つの校舎で校長を務めました。赴任当初、校舎は老朽化しており大規模改修が始まろうとしていました。新校舎ができるまでグラウンドはなくプレハブの仮設校舎。どうやったら入学希望者を減らさず、学校を維持していったらよいのか。しかし、別の見方をすれば豊島高等学校はまさに変わり目を迎えていました。これに乗じない手はありません。

まず取り掛かったのが教育目標です。本校が90年前に高等女学校として開校したとき、初代校長が校訓とした「至誠」は、女性としての「思いやり」や「おもてなし」を大切にとの思いを込めていたそうです。私はこの校訓を「誠に至る」と「究極に至る誠」と、二つに読み下してみました。前者はプロセス、後者は理想です。この二つを考えあわせ、「何事にも誠心誠意全力で取り組む生徒」を育てる学校にしたい、と考えました。当時、生徒は全体的におとなしく、素直で真面目でした。上履きのかかとをつぶさず、どこでも誰にでも挨拶できる生徒は、都立高等学校全校を見渡してみてもそうそういるものではありません。授業態度も極めてよく、校則違反による特別指導は長い間ほとんどありませんでした。これは本校生徒の美德であり、強みだと思っています。ところが、人を押しのけてでも前へ出ようとしないう真面目なおとなしさは、こと本人の進路意識や学習状況に照らしてみたとき、諦めと妥協につながりやすいという状況にもつながっていました。

この状況を克服し、強みを伸ばして校訓を実現するために、私は二つの教育目標を掲げました。「一段高い進路希望の実現」と「主体性の発揮」です。自分の卒業後の進路について考えたとき、部活動を一所懸命やっているとなかなか勉強できないから、自分の成績ではこのくらいの大学にしか入れないといった、あきらめと妥協を生徒の生きる姿勢から取り出したかったのです。だから、自分の入りたい上級学校を見定めたら、学力の現状からいかに高根の花だろうと、あきらめないで、一段高い進路希望を保つ

たままに誠心誠意全力で進路実現に取り組んでほしい、と考えました。

時代の流行に乗って、探究の姿勢を身につけ、授業にも人間関係にも学校行事にも主体性を発揮し、明確な戦略のもと学力向上に邁進し、一段高い進路希望を実現し、上級学校でもさらに切磋琢磨できる、刺激の多い豊かな人生を歩めるような生徒を育てようと意気込んだ5年間でした。

主体性を発揮させる機会は意図的に創出しました。体育館がない仮校舎期間に東京体育館で行った体育祭では、開会式の挨拶で生徒に「今日から皆の学校行事に対する姿勢を変えてもらう。使用できる時間は限られている。今日は先生方には一切構わないよう伝えてある。実行委員を中心に全員が主体的に行動してきばきと進めなければ、せっかく考えて練習した種目を割愛せざるを得ない。先生に頼らず自分たちの力で進行管理を徹底してほしい。」と呼びかけたのが功を奏しました。やればできると教員も生徒も実感したに違いありません。

また、母国語以外に、英語を苦勞して学んでいる相身互いの異国の生徒と、開校以来初めて生徒を交流させようと思い立ち、まず北京は盧溝橋の傍にそびえる市立豊台第二中学校（中高一貫校）に生徒会長・前生徒会長を引き連れて訪問し、姉妹校提携を結びました。直後のコロナ禍で十分な交流はできませんでしたが、北京大学主催の日中高等学校生交流に参加するなど、生徒が海外の生徒と対話する機会を、オンラインではあれ得ることができました。

さらに、一段高い進路希望を保ち続けるには、生徒の進路意識をゆさぶる先人の講話が欠かせません。「豊島セミナー」と名付けた講演会で、駅の着メロを全曲演奏でき作曲もしている方、女子プロレスラーで気象予報士、ラジオのDJもされている方、男性保育士に女性消防士、日本一の赤字路線と言われた銚子電鉄を立て直した社長、化粧品会社の研究開発員、高等学校時代の経験や社会人になってからの苦勞話などをなるべくユニークな方に語ってもらいました。

以上のような取組に加え、スクールカラーのえんじ色を取り入れた新制服、大学のキャンパスのような視聴覚室や豊島アベニュー、ラーニングコモンズなどの新校舎が評判を呼び、都立高等学校でも1、2を争う人気校になっていることが何よりもうれしいです。豊島高等学校のますますの発展を遠く他校から祈念しています。

創立 90 周年に

寄せて

元校長 原田 能成

(現東京都立大泉高等学校附属中学校 校長)

東京都立豊島高等学校が創立 90 周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私は、令和 5 年度及び令和 6 年度の 2 年間に在職しました。「何事にも誠心誠意全力を尽くす生徒」を育成するために、「探究学習の推進」「主体性の育成」「諦めない心の育成」を指導の三本柱として、学校経営に位置付けていました。

「探究学習」については、疑問をもち、根拠を探し、人と相談し結論を出す(協働)、そして人に分かるように説明するプロセスが大切です。このプロセスを繰り返していくうちに、答えのない問いに行きつき、課題解決の提案へと繋がると考えています。

「主体性」については、目的を達成するための方法を考え、自分ができそうな方法で最善のものを選択して行動することが重要です。この最善策を提案するプロセスには探究学習の考え方が大切だと考えています。

「諦めない心」については、高い目標を掲げると世の中では成功と失敗の数では失敗の数の方が多いことは当然です。失敗は悪いことではありません。その方法ではうまくいかないことが分かっただけで、方法を変え再挑戦することが大切だと考えています。

当時は新校舎が完成し、最新の教育設備、生徒の自慢のラーニングコモンズや図書室など多くのセールスポイントがありました。豊島高等学校の一番の自慢は生徒だと強く感じていました。このような中で、生徒の学力向上、生徒の主体性の育成、希望の進路実現が学校の教育課題であると認識していました。この課題を解決するために多くのことを先生方をお願いしたことを覚えております。この場をお借りし、御協力をいただきました先生方に御礼申し上げます。

生徒の学力向上のための指導について、働き方改革や教育のDX化を視野に入れ、リアテンドメントを活用した採点をお願いしました。この採点システムはデジタル採点機能だけでなく、

各問の正答率などを分析する機能もありましたので、予備校等が実施している模擬試験結果の分析手法の導入もお願いしました。また、目標を定めて指導・評価すること、学力分析と目指す学力についても提案・検討についてもお願いしました。これらの取組の実践に協力してくれた方も多数いましたが、定着には至ってなかったと感じております。採点時間の効率化と問ごとの正答率の分析を活用して生徒の弱点強化を実践する仕組みづくりに期待をしています。

生徒の主体性育成は、生徒の興味ある学校行事や部活動で実践していくことが重要だと考えていました。重要なことは、自分なりに考え、自らの意思で行動に移し、自ら結果に責任をもつ姿勢が必要だと私は考えています。経験豊富で優秀な教員にとって、生徒に考えさせ、行動させることは、時間がかかり過ぎて大変です。こんな中、生活指導を担当していた教員には大変な努力と忍耐を強いることとなりました。当時は育成の様子を拝見しながら私自身も勉強させていただきました。生徒の気持ちを聴き取りながら、必要な助言を行い、待つ、そして行動し、振り返りを大切にして、次へ繋げることの重要性を学びました。体育祭、文化祭、校内でのお弁当等の販売で生徒に考えさせ、提案させ、検証する姿は今でも忘れることはできません。

国公立大学を目指すための教育課程を前任の校長が決定しました。国公立大学や難関私立大学の合格実績は向上していましたが、この教育課程に基づき、教科・科目の系統性や指導内容についても私は教員に対し、検討するよう指導しました。教科・科目の接続性を踏まえ一部変更を行いました。今後は教科横断的な視点での授業展開を一層に充実させ、更なる進学実績の向上に繋げていただきたいと思います。

生徒に「思いやりの心」や「おもてなしの心」を大切にしてほしいとの思いを込めて初代校長が「至誠」を校是としています。この思いは当時も受け継がれており、時代は変わっても、今後も変わることはないでしょう。まさに、伝統的な教育理念を踏まえ、時代の変化に応じた新しい教育の手法を取り入れていく学校なのです。この校是を大切にし、次の 10 年、そして次の 100 年に向け、更なる発展を期待しています。

至誠の伝統を

これからの時代

へ繋ぐ

前校長 堀口 俊英

(現「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)
(開設準備室) 校長)

東京都立豊島高等学校創立 90 周年、誠にありがとうございます。この記念すべき節目に当たり、長きにわたり本校を支えてこられた卒業生、保護者、地域の皆様、そして歴代の校長先生方、教職員の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

私が豊島高等学校で校長として過ごした時間は、令和 7 年度の一年という短いものでした。90 年という長い歴史の中で見れば、それはほんのわずかな期間にすぎません。しかし、その限られた時間の中でも、私は豊島高等学校の生徒たちの真摯な姿、仲間と支え合いながら学校生活を築いていく姿を、幾度となく目にしていまいりました。そして、その一つ一つの場面に、校是である「至誠」の精神が脈々と息づいていることを実感いたしました。

「至誠」とは、まごころを尽くすこと、物事に誠実に向き合うことだと思います。それは特別な場面だけで表れるものではなく、日々の学びや学校行事、部活動、友人との関わりの中にこそ表れるものです。豊島高等学校の生徒たちは、まさにそのような姿を日常の中で示してくれていました。

全日制課程では、体育祭や文化祭、部活動に取り組む姿が印象に残っています。特に、文化祭では、限られた準備期間の中で、生徒たちが知恵を出し合い、工夫を重ねながら、それぞれのクラスや団体のもち味を生かした発表をつくり上げていました。来場された方々に楽しんでいただくという思い、仲間と協力して一つものをつくり上げようという気もちが、校内の至るところにあふれていました。華やかな舞台や展示の裏には、目立たないところで支える生徒たちの努力もあり、その姿に私は豊島高等学校の温かさと誠実さを感じました。また、部活動の応援に足を運ぶ中でも、豊島高等学校の良さを数多く感じました。試合や発表の場で懸命

に挑戦する生徒、その努力を支える仲間や顧問の先生方、そして温かな声援を送る周囲の生徒たち。そこには、勝敗や結果だけでは語れない、真剣さや粘り強さ、そして仲間を大切に思う心がありました。最後まであきらめずに取り組む姿に、私は何度も胸を打たれました。

定時制課程においても、心に残る場面が数多くありました。修学旅行では京都・大阪を訪れ、生徒たちは仲間とともに歴史や文化に触れながら、かけがえのない時間を過ごしました。日常を離れた場で見せる表情には、新たな発見や成長があり、互いを気遣いながら行動する姿に、定時制の生徒たちの温かさと誠実さを感じました。また、定時制の文化祭では、生徒たちが自分たちの学校生活を豊かにしようと主体的に取り組む姿が印象的でした。一つ一つの取組に手作りの良さがあり、そこには規模の大小ではなく、自分たちの力で学校を盛り上げようとする確かな意欲がありました。さらに、生徒会主催のスポーツ大会では、始球式を務めさせていただきました。生徒の皆さんと一緒に交流を深め、学校生活に楽しさと一体感をもたらす大切な機会となっていました。こうした行事を通して、定時制課程の生徒たちが互いを尊重しながら学校生活を築いていることを、私は大変うれしく思っていました。

一年という短い在任期間ではありましたが、私は全日制・定時制を問わず、生徒たちの頑張りをできる限り近くで見つめてきました。日々の授業、行事の準備、部活動、何気ない挨拶や周囲への気遣い、その全ての中に、豊島高等学校の 90 年の伝統が確かに受け継がれていました。歴史とは、ただ年を重ねることではなく、一人一人の真摯な歩みの積み重ねによって築かれるものなのだと、あらためて感じています。

これから先、社会が大きく変化する中であっても、豊島高等学校には、校是「至誠」を大切にしながら、生徒一人一人の可能性を丁寧に育む学校であってほしいと願っています。学力を高めることはもちろん、人を思いやる心、自ら考え行動する力、困難に直面しても歩みを止めない強さを育てる学校として、豊島高等学校はさらに発展していくことでしょう。

創立 90 周年という佳き節目に、豊島高等学校がこれまでの歩みを礎として、次の時代に向けてますます輝きを増していくことを、心より祈念いたします。

創立 90 周年 祝辞

元全日制課程 副校長 飛田 丞
(現東京都立板橋高等学校 校長)

東京都立豊島高等学校が創立 90 周年を迎えましたこと、心からのお祝いを申し上げます。

豊島高等学校の校是である「至誠」は、思いやりの心やおもてなしの心を大切にすることを願う、東京府立第十高等女学校初代校長の思いが込められています。そして、90 年の歴史の中で培われ、受け継がれてきた現在の豊島高等学校の精神そのものとなっています。

思いやりの心やおもてなしの心は、学校生活だけでなく、卒業後の人生においても揺るぎない力となり、この力を基に、困難に立ち向かい、自らの可能性を信じて挑戦する勇気を生み出します。そして、この勇気が未来を切り開き、更には新たな価値を創造し、常に新しいものを創りだします。この 90 年にわたる歩みは、誇り高い歴史の証であり、教職員の皆様の献身的な指導、卒業生の活躍、そして在校生の皆さんのひたむきな努力によって築かれてきました。

豊島高等学校周辺は、歴史的建造物と緑豊かな公園が点在する、落ち着いた住宅地です。生徒は、この昔ながらの地域性と、新しく整備された生活環境が共存する中で学校生活を送り、仲間とともに成長し、未来への大きな一歩を踏み出してきたと、私は感じました。

豊島高等学校独自の学校行事である、「歩こう会」「サマースクール」「弁論大会・舞台祭」は、学校を学習の場にとどめず、社会で活躍する基盤の育成にもつながっていました。また、学校が地域と深く結びついた存在で、生徒会や部活動を中心に、地域の行事に積極的に参加し、社会貢献してきました。私は、こうした活動の積み重ねこそが、豊島高等学校の価値を形づくり、地域から高く評価される理由であると思いました。

改めて、豊島高等学校に関わる全ての皆様の御支援と御尽力に深く感謝申し上げますとともに、豊島高等学校のますますの御発展をお祈りいたします。

祝辞 90 年の

中の 1 年

元全日制課程 副校長 北江 繁治
(現東京都立青山高等学校 非常勤教員)

私が豊島高等学校全日制に在籍していたのは平成 31・令和元年度 1 年間でした。校舎・グラウンド全面改修中で、プレハブ校舎住まいにグラウンド無し、体育館有りの時期でした。

そのような状況でも、生徒は豊島高等学校を志望して、様々な活動に取り組んでいました。

学校行事では、狭山での「歩こう会」。木から落ちてくる毛虫に騒ぐ生徒はいても、歩くこと自体に文句を言う生徒はおらず立派でした。私も生徒と一緒に全行程歩きましたが、歩数計で 3 万歩以上でしたので、生徒は本当に頑張りました。体育祭は所沢の体育館で実施しました。天候によらず快適な室温の中、グラウンドで実施する体育祭よりも競技に集中し、ケガも少なく良い行事となりました。

活動場所がない中、部活動にも取り組んでいました。拝借する施設の方と連絡の先鞭を切るのは副校長でしたが、後の調整は先生方が行い、生徒も学校を離れて活動しました。移動中の事故もなく安全に行動してくれました。吹奏楽部など全国大会を狙える部活動もあり、生徒の資質の高さを感じていました。

勉強面でも、私の進学校での経験から先生方や保護者・生徒へ話したことも生かしてもらえたと思います。細切れの時間の使い方や進路指導・進学指導など、生徒も先生方もよく取り組んでいたと思います。

改修中という不便な高等学校生活を余儀なくされた状況でも、生徒は勉強・部活動・学校行事にしっかり取り組みました。そんな生徒諸君に輝かしい未来が待っていることを願ってやみません。

最後になりましたが、90 周年おめでとうございます。新校舎と施設の整った豊島高等学校の益々の御発展と生徒皆さんの御活躍を祈念しています。

創立 90 周年に

寄せて

元定時制課程 副校長 中島 聡司

(現東京都立第三商業高等学校 副校長)

創立 90 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。長きにわたり、多様な生徒の学びの場として教育活動を継続されてきた本校の歩みに、深い敬意を表します。

私が着任したのは令和 5 年度であり、令和 7 年度までの 3 年間、定時制課程の教育に携わる機会を得ました。この間、日々の教育活動を通じて、定時制課程の持つ独自の価値と、そこに集う生徒・教職員の真摯な姿勢に触れ、教育の本質を改めて考えさせられる日々でした。

本校定時制課程の生徒は、多様な生徒が在籍していましたが、限られた時間の中で学びに真剣に向き合うところは共通しており、授業中はもちろん、行事やイベントなどに真摯に取り組む姿が印象的でした。進路に悩みながらも、自らの可能性を信じて一歩ずつ前進する姿には、強い意志と努力の積み重ねが感じられました。

教職員の皆様もまた、生徒一人一人の状況に寄り添いながら、丁寧かつ粘り強い指導を続けておられました。授業準備や個別対応に加え、生活面での支援にも力を注ぎ、生徒の成長を支える姿勢には、教育者としての誇りと使命感が表れておりました。先生方の熱意と工夫が、学びの場をより豊かなものにしていただけたことは言うまでもありません。

こうした日々の積み重ねが、本校の伝統を築き上げ、90 周年という節目を迎える礎となったのだと思います。

今後も、時代の変化に柔軟に対応しつつ、誰もが安心して学べる場として、さらなる発展を遂げられることを心より祈念いたします。

創立 90 周年を祝して

元経営企画室 室長 小原 一晃

(現東京都立大泉桜高等学校経営企画室 室長)

創立 90 周年、おめでとうございます。

私は経営企画室長として、令和 3 年度から 4 年間お世話になりました。

着任した時は、まだ現在の新校舎が建設中のためプレハブ校舎で授業を行っていました。プレハブ校舎での生活は、私が小学生の時に校舎の改修で経験して以来で、とても懐かしく感じられました。

ただそんな郷愁に浸っている間もなく、通常業務に加え引越しに関する業務を行わなくてはならず、とても忙しい日々を送っていました。そんなある日、もうお亡くなりになったのですが、俳優の宝田明さんが来校されました。宝田明さんは昭和のゴジラ映画等に主演で活躍された方で、豊島高等学校の卒業生です。昭和の時代から社会で活躍される多くの卒業生を輩出してきた豊島高等学校の伝統を感じた時でした。

その後新校舎が完成し、新校舎への引っ越し、プレハブ校舎、体育館の解体、グラウンドの整地、グラウンド改修工事を経て現在の豊島高等学校が完成しました。

とても大変だったという記憶しかないのですが、これら一連の業務に携われたことはとても素晴らしい経験でした。

今、豊島高等学校は都立高等学校の中で大変人気のある学校です。

豊島高等学校が 100 周年に向けてますます発展していくことを祈念しております。



豊島高等学校

90 周年に寄せて

ぶりに豊島高等学校の文化祭へ伺いました。開場前からたくさんのお客様が並び、豊島高等学校の人気ぶりがよく分かりました。新しくなった校舎で 90 周年を迎え、ますます豊島高等学校が発展していくことを心より願っています。

元全日制課程 公民科 宮路 みち子
(現東京都立町田総合高等学校 副校長)

都立豊島高等学校 90 周年、おめでとうございます。

私が豊島高等学校に勤務していたのは平成 27 年度から 29 年度の三年間で、70 期生の担任を務めていました。

平成 27 年 3 月に豊島高等学校へ来たのは、入学予定の中学 3 年生が書類を提出に来る日で、なぜか「この子たちの担任をするかも」と思いました。そしてそれは現実になりました。

異動直後は学校のことを何も知らないため、新入生と一緒に色々と調べながら毎日を過ごしていました。当時は 1 学年 7 クラス、担任 7 人は毎朝 7 時半には集合して、早朝打合せをしていました。仲が良い担任団で、職員室はいつも笑い声が絶えませんでした。ちなみに今でも、年一回は 7 人が集まってお食事等をしています。

勤務していた頃はまだ校舎が建替前で、あちこち不具合が生じていました。でも生徒たちはとても良い子ばかりで、学習や学校行事、部活動等を充実させていました。なかでも吹奏楽部の生徒は、一生懸命に部活動や学校生活を頑張っていて、いつ寝るのだろうと心配でした。

豊島高等学校は府立第十高女からの伝統を引き継いでいますが、私がすごいなと思ったのは、戦前からの雛人形や平安装束があったことです。装束は傷みが激しいためどこかに仕舞われていましたが、雛人形は見たことがあります。平成 28 年度に豊島高等学校は 80 周年を迎えて記念式典を行いました。式典の会場に雛人形が飾られていました。女子高だった時代、生徒たちの情操教育のためにと保護者や教職員がお金を出して雛人形を購入したり、ある宮家から平安装束を譲っていただいたりしたとのことでした。保護者も教職員も、生徒を心から大切にしていたことが分かります。そんな豊島高等学校が、私はとても好きでした。

今回、この原稿執筆のお話をいただき、久し



豊島高等学校

回顧

改築後の豊島高等学校は倍率が伸び、進路実績も向上していると聞いています。教員 OB としてとてもうれしく思います。古き良き伝統を生かしながら、進取の精神も忘れず、今後ますます発展されることを祈っております。

元全日制課程 英語科 藤丸俊宏
(現東京都立文京高等学校 非常勤教員)

創立 90 周年、おめでとうございます。

私は平成 28 年から令和 2 年までの 4 年間豊島高等学校に主幹教諭として、令和 2 年から令和 7 年までの 5 年間女子バレーボール部部活指導員として在職しました。初年度は保健部主任、2 年目から 3 年間は学年主任を務め、部活動は女子バレーボール部を担当していました。

前任校の文京高等学校在職中に、女子バレーボール部の練習試合で度々豊島高等学校にお世話になり、お邪魔をしていましたので、初めてという感じはせず親しみのある学校でした。当時体育館棟は“豊誠館”という高尚な名前と呼ばれ、寝泊りができて合宿も行える施設だと聞いてうらやましく思ったことを記憶しています。

女子バレーボール部は伝統があり、文化・スポーツ推薦も行っていたので、目標を高く掲げ、朝練習から土・日曜日の活動までそれに向かって部員たちは頑張っていました。今は空調施設が完備され快適な環境で活動ができますが、当時はそれもなく、特に夏期はサウナのような体育館で、お互いに汗びっしょりになりながら活動したのを覚えています。部員は活動後プールに飛び込むのを楽しみにしていたそうです。私には部員のような若さはないので疲労が溜まり、少し休みたいな～、などと気もちが引くこともあったのですが、体育館から部員の元気な掛け声が聞こえてくると、「よーし」と自分の弱い心を戒め体育館へ向かったものでした。

結果は都ベスト 32 が最高位でしたが、活動を通して「礼節・誠実・感謝」という柱の下、「人として」成長をしてくれたのではないかと思います。

担任をした 72 期生は、改築のため途中でプレハブ校舎での生活を強いられ、新校舎に入ることなく卒業となりましたが、プレハブ生活も思ったほど不快ではなく、素直で愛すべき生徒と楽しく過ごすことができました。当時の生徒気質は今も変わらないのではないのでしょうか。



祝創立 90 周年

元全日制課程 数学科 兼近 光明
(現東京都立石神井高等学校 主幹教諭)

豊島高等学校創立 90 周年おめでとうございます。私は、平成 25 年度から 6 年間全日制の教務主任として勤務させていただきました。豊島高等学校在籍中に印象に残っている行事は、現在も継続されているようですが、伝統となっている「歩こう会」です。当時は、西武秩父線吾野駅と正丸駅を結ぶ約 20 キロの山の中の道を自然に触れながら歩くというものでした。初めて豊島高等学校に赴任した時は、このような行事は他の学校にはほとんどない行事だったので、少しびっくりしましたが、4 月の終わりくらいの時期に行っていたので、新入生は、お互いの親睦を深め、2、3 年生はその後の学校生活に向けた 1 年間の始まりにととても良い行事でした。ぜひ今後も継続して行っていただきたいと思います。

また、在籍中に校舎の改築工事も行われ、改築計画にも関わらせていただきました。改築中は仮校舎への引越し、仮校舎での授業など、今まで体験したことのない経験をさせていただきました。特に仮校舎での生徒の生活は、校舎の入り口の変更やグラウンドが使えないなど、いくつかの制限がありながらとなりましたが、入学者選抜においても仮校舎での授業になることがわかっていながらもそれほど倍率が低下しなかったのは、当時の先生方の努力の結果ではないかと思っています。改築が終わり新校舎での授業となった現在、当時よりも多くの受検生が集まってきているのでとても嬉しく思っています。

学習面では、当時教務部が主催して教科「人間と社会」において、夏休みには小学校へ生徒を派遣しサマースクール補助を行いました。また、冬には国際理解支援協会の協力を得て、留学生の話聞く会を開催しました。様々な国の留学生から、母国の文化や習慣などを聞き、ディスカッションをすることで交流を深め、多様性を学ぶことができました。留学生の中には、民族衣装を着用して教室に登場し、見た目から、海外を意識できるような学生もいて、生徒にも好評だったことが印象に残っています。

最後に、豊島高等学校は 90 周年を迎えましたが、豊島高等学校の良い伝統を守りつつ、今後ますます発展されることを願っています。

進路指導の小さな歩み

元全日制課程 英語科 宮崎 幸子
(現東京都立竹早高等学校 非常勤教員)

創立 90 周年、おめでとうございます。

私は、豊島高等学校 8 年間の在任中、ほとんどの時間を進路指導部で過ごしました。着任当時、豊島高等学校にはジョブシャドウ等のユニークな進路行事がありましたが、都立高等学校ではすでに「総合的な学習時間」(現「探究」)が設定され、一方、豊島高等学校では進学指導の充実も求められていました。穏やかで心優しい豊島生に対して、高い目標をもち、それに向かって努力する強さを持てるような進路計画が必要だったのです。その年着任された先生方は、どなたも進路指導経験が豊富で、生徒の進路実現に積極的でした。おかげで、進路指導に関わる様々なことを進路部と学年進路担当の先生方で話しあうことができました。模試や分析会、ガイダンス等、既存のプログラムの継続や見直しに加えて新しいこともとにかくやってみました。3 年 0 学期もその 1 つです。担任の先生方の協力が大きな力となり、生徒支援の計画が形になっていきました。もちろん、試したものの、残念ながらその継続を見送った取組もあります。それでも、学年の先生方と生徒のために色々なものを作り上げていく時間は貴重でした。

当時の豊島高等学校の進路指導室は他校と異なる点がありました。それは教員室と資料室との間に壁がなかったことです。書棚で区切られただけだったので、生徒が資料室に入室するのがわかります。進路部教員はすぐに声をかけました。雑談から時には進路相談になることもありましたが、壁がないことの支障もありましたが、あれほど生徒と進路部の教員がコミュニケーションをとれる資料室はなかったと思います。また、資料室整備にも手をつけ、赤本に合う書棚を探しました。予算の関係で設置作業は私たち教員の仕事です。大変でしたが、壁一面に整然と並んだ赤本に思わず笑みがこぼれました。生徒にとっても手にとりやすく、使いやすい資料室になったと自負しています。新校舎の設計にも携わり、赤本棚はもちろん、進路室全体のレイアウトや壁の素材に至るまで色々要望を出しました。果たして結果は？

今、新校舎で豊島生が進路室を有効に活用していることを願っています。

豊島高等学校

80 周年～90 周年

元全日制課程 保健体育科 野村 健一
(現・豊島高等学校バレーボール部
部活動指導員)
(教員在職期間：平成 24～30 年)

今から 10 年前、創立 80 周年記念誌の編集をしていた。その 10 年後まさか自分が 90 周年記念誌の寄稿をするとは想像出来なかった。しかも退職後 7 年の月日が流れ再び豊島へ関係している事は思いもよらなかった。10 年前の記念誌に「伝統を背に」「至誠を胸に」と言うキャッチコピーを勝手に作った。当時の豊島生は“至誠”が好きだったと記憶している。挨拶の「3 秒ルール」は今でもあるのでしょうか。つまり、生徒は日常の挨拶を初め保護者・中学生など外部の人と思われる方に対して挨拶例えば「こんにちは！」と言って頭を下げる時間は 3 秒間。これは至誠の基と伝承されていた。今は部活動指導員として週 3 日程度体育館にお邪魔しているが元気よく様々な部活動の生徒が挨拶をしてくれる。これは豊島だと思える瞬間でもあった。

この 10 年で最も変化したのはやはり校舎改築が大きい。制服も一新し大変あか抜けた印象がある。旧校舎から未だに目に付く物では正門横にある東京都立豊島高等学校の石碑。そして枝垂れ桜。特に桜は嬉しかった。満開の季節になると、小さなお子さんをお連れになった方やご高齢のご夫婦と見うけられる人が、正門内に入ってこられて記念写真を撮っている風景は春の風物になっていた。

創立 90 年と言う歴史の中でたった数年ではあるが複数回関わった事は不思議な縁を感じる。豊島高等学校は新しいステージに入った。都立高等学校の中では超人気校に変貌した。90 年の積み重ね故に成り立ったと思っている。これからも現状に甘んじること無く校是「至誠」の元“伝統を背に”前に前に進んで行ってもらいたい。最後にまさかではあるが 100 周年記念誌に関わることはないが都立豊島高等学校の益々の繁栄を祈念してやまない。

※80 周年記念誌の表紙。
旧校舎や第十中が写っている。



※記念品のタオル。
デザインは生徒の公募から。



3回の担任を受けもって

元全日制課程 英語科 中村 正春

豊島での最初の始業式は今でも忘れられない。最初から生徒同士のコミュニケーションが活発で、明るい雰囲気の中で始業式がスタートした。個性豊かな服装やヘアスタイルが見られ、生徒たちの自主性と創造性が感じられたことが印象的だ。全体として安定した学校生活が営まれつつ、時には生徒の自主的な行動が見受けられ、生徒たちは自由を大切にしつつ、自律的に学校生活を楽しんでいた。進学実績についても、学力水準に見合った進路指導をさらに強化し、着実に結果を伸ばしていく余地があった。

異動してすぐに受け持った 67 期は増学級の影響もあり、多様な課題に丁寧に取り組むことで指導チームの経験値が大きく向上した学年だった。入学時の学力には伸びしろが大きく、進路指導部との連携を密にすることで立派な結果を残した。70 期では学年主任を務め、「はじめ」「勉強」「熱中」を合い言葉に担任団 7 人が一丸となって生徒と向き合った。遅刻や生活面の指導を学年全体で連携して行い、生徒の自己管理能力を高めた。また「勉強」を日常の一部として楽しむ風土を育み、生徒の学習意欲を自発的に引き出した。高校ならではの多彩な活動に全力で取り組み、生徒一人一人が自分の情熱を発揮してくれたおかげで、感動的な卒業式を迎えることができた。73 期では 2 学年から担任となり、これまでの指導法を受け継ぎながら学年全体でまとまってサポートを行った。コロナ禍における 3 年次の対応は大変だったが、オンライン学年会などを活用して教職員間の意思疎通を図り、生徒の安心・安全な学習環境を維持できた。

年月とともに豊島高等学校の雰囲気はさらに安定感を増し、生徒たちは自主的に学習に取り組むようになった。その結果、教員はより質の高い教育支援や個別フォローに集中できるようになった。とりわけ 67 期のサッカー部はエネルギーで、学校に生き生きとした活気をもたらしてくれたことが懐かしく思い出される。



吹奏楽部との

8年間

元全日制課程 音楽科 新井 純子

豊島高等学校創立 90 周年おめでとうございます。

私が豊島高等学校に着任したのは、あの東日本大震災の直後、平成 23 年 4 月でした。前任校の卒業式当日に起きた震災の混乱が続く中、後ろ髪を引かれる思いで異動して来ました。

春休みで誰もいない音楽室に入ると、吹奏楽部の荷物で足の踏み場もない状態でした。楽器庫はないため、床は楽器が所狭しと並び、黒板にたどりつくこともできません。どうやって授業を始めたらいいのだろうと、途方に暮れた記憶があります。顧問の私の仕事は、音楽の指導というよりは、生徒がしっかり練習できる環境（場所、楽器、予算等）を整えること、そして生徒には、きちんと学校生活を送った上で部活にも真剣に取り組めるように指導することでした。これは本当にたいへんで、いつも課題は山積みでした。そんな中、生徒たちは練習に励み、少しずつですがレベルも上がって、コンクールでも安定した成績を上げられるようになりました。この間、御理解、御協力をいただき、あたたかく見守っていただいた全定の先生方、企画室の皆様、技術指導してくださったコーチや講師の先生方、物心両面から部を支えていただいた保護者の皆様には心から感謝いたします。

私の退職前年には、プレハブ校舎への引越がありました。夏のコンクール直前の引越で、これもたいへんでした。このころ部員数は、150 人近くになっており、プレハブの音楽室に全員入って合奏すれば、床がぬけるのではないかと、本気で心配したものでした。

そして新校舎の完成を見ることなく、私は退職しました。今は新しい校舎で、念願の楽器庫もでき、以前よりずっと良い環境で練習できていると思います。

退職後も、定演やコンクールは聴きに行っています。これからも、聴いてくれる人を感動させられる音楽を演奏できるよう、がんばってほしいです。私も陰ながら応援しています。

養護教諭として

見守った大切な

時間

元定時制課程 養護 佐々木 智春
(現東京都立桐ヶ丘高等学校 主任養護教諭)

この度は東京都立豊島高等学校創立 90 周年、誠におめでとうございます。このような記念すべき年に、微力ながら寄稿させていただく機会をいただき、心より感謝申し上げます。

私は平成 29 年 4 月から令和 5 年 3 月までの 6 年間、定時制課程の養護教諭として豊島高等学校に勤務いたしました。この 6 年間は、私にとってかけがえのない宝物のような日々です。定時制課程の生徒たちは、年齢も背景も様々で、それぞれの事情を抱えながら、学ぶことを諦めずに豊島高等学校の門を叩きました。彼らの多くが、何かしらの傷つきを抱え、居場所を求めているように感じます。保健室は、そんな生徒たちにとっての「居場所」の一つでした。放課後になるとたくさんの生徒たちが訪れ、時には悩みを真剣に、時には他愛のない話を笑顔で聞かせてくれました。私は、ただ話を聞き、頷き、彼らの存在を肯定することに徹しました。「先生、聞いてください」と保健室のドアを開ける生徒たちの姿は、今も私の目に焼き付いています。

豊島高等学校の魅力は、一人一人を大切にする手厚い指導にあります。先生方は、生徒の些細な変化にも気づき、声をかけ、心を寄せていました。生徒と教員、そして生徒同士の温かい信頼関係が築かれていたことは、私の誇りです。また、在職中には、旧校舎から仮設校舎へ、そして新校舎への移転という大きな節目を経験しました。「清整の豊島」とも言われるほど驚くほどきれいに保たれていた旧校舎、活気のあった仮設校舎、そして真新しい新校舎での生活。どの校舎にも、生徒たちとの大切な思い出が詰まっています。

豊島高等学校の定時制課程は、生徒たちの人生の再出発の場所でした。彼らはここで、自分らしさを取り戻し、未来への希望を見つけてきました。これからも、この学び舎が、たくさんの人々を温かく迎え入れ、支え続けてくれることを心から願っています。豊島高等学校のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。

創立 90 周年 に寄せて

元定時制課程 保健体育科 高松 直樹
(現東京都立駒場高等学校 教諭)

東京都立豊島高等学校が創立 90 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。豊島高等学校に関わってこられた全ての方々に感謝を申し上げるとともに、その一部となれたことを光栄に思います。

私が在職した定時制課程の3年間では、全校生徒が4学年で30～50名程、教員が8～10名程と、他の学校などと比較すると小規模でした。全教員が全生徒と関わるため、生徒に寄り添うとてもアットホームな雰囲気で学校生活が送られていたように思います。

保健体育の授業では、運動習慣の少ない生徒にスポーツの楽しさや体を動かすことの大切さを知ってもらうため、時には一緒に体を動かしました。またバスケットボール部は、スポーツを楽しみたい生徒の活動の場として広がると同時に、人数が少ない中でも大山高等学校や一橋高等学校と合同チームを組み都大会に出場し、全国大会まであと一歩という経験をすることもできました。

行事もたくさんあり、年に2回ある学年ごとの遠足では、「非日常」をテーマに行先や目的も自分たちで案を出して、初めて行く場所や交通機関に戸惑いながらも、貴重な文化体験と成功体験を積むことができました。文化祭で人数が少ない中でもクオリティを求めて試行錯誤したことや、スポーツ大会で生徒と競い合ったこともかけがえのない思い出です。

ここには書き切れないような大変な経験もありましたが「できない言い訳ではなく、今ある環境で何ができるかを考えること」や、子どもたちと深く関わることの大切さや楽しさを学ぶことができました。私は豊島高等学校の定時制課程が初任校でしたが、学年と分掌を掛けもち小規模ながらも全体をみながら働けたこと、人を育てるということの多様な在り方を学べたこと、これらは定時制課程だからできた経験であり、間違いなく今の教員生活に生きています。

貴重な経験をさせていただいた東京都立豊島高等学校の今後のさらなる発展と、定時制課程で関わった子どもたちの将来の幸せを祈念しております。

令和5(2023)年度

担任より

豊島高校定時制 2年A組担任:高松直樹

<学習目標>

〇なりたい自分になろう ~Let's become the one you want to be~
みんなの人生の主人公は、みんな自分。『自分なり』の人生を歩んでほしい。
なりたい自分とはそれぞれです。『みんな違って、みんないい』のです。
なれなくても大丈夫。なろうとすることが大切。まずは『なりたい自分』を見つければいいから！

〇やる時はやろう ~Let's do it when you have to do it~
『やる時はやる。(やらない時はやらない。)]これが先生のモットーです。
みんなにもこれだけは守ってほしい。
『やる時』と『やらない時』を自分で判断できる人間になろう！

〇応援されるチームになろう ~Let's become a team everyone wants to support~
せっかく出会った2年A組のみんな、みんなは1つのチームです。良い関係性を築いていこう！
そしてまわりの人から応援されるような集団になってほしいです。
『応援されるチーム』って、どんなチームかな？

『みんなの人生を楽しくカラフルに！ 全力でサポートします。』





定時制の時間帯の正門

全日制課程 教育活動

学 校 沿 革

- 昭和 11. 1. 14 東京府立第十高等女学校設立認可
 11. 1. 25 野間忠雄初代校長就任
 11. 2. 9 校章決定
 11. 4. 15 赤坂区旧青山師範学校仮校舎にて最初の入学式举行
 13. 3. 18 第1期工事完成
 14. 3. 24 第2期工事完成
 15. 1. 12 東京府立第十五高等女学校設立認可
 東京府立第十高等女学校校長兼任
 15. 5. 5 第3期工事完成
 16. 3. 29 府立第十五高等女学校を東京府立神代高等女学校と改称
 16. 4. 15 同窓会による研究科を開設
 16. 5. 2 第4期工事完成
 17. 4. 24 東京府立清明女学校(夜間部)開設
 17. 9. 7 東京府立神代高等女学校新校舎へ移転開校
 18. 4. 1 東京府立第二十二高等女学校設立認可
 東京府立第十高等女学校校長兼任
 東京府立第十高等女学校第2部(夜間部)開設
 18. 7. 1 都制実施により校名を東京都立第十高等女学校と改称
 19. 3. 1 東京都立第十高等女学校保育所開設研究科廃止
 19. 4. 1 修業年限を4ヶ年に短縮、定員第十高女1,000名、第二十二高女400名
 20. 3. 28 第5回卒業式举行5年卒(215名)
 第6回卒業式举行4年卒(260名)
 20. 3. 31 保育所閉鎖、清明女学校廃止
 21. 4. 1 第二十二高女を併合、修業年限5ヶ年に復帰
 23. 3. 24 併設中学校第1回卒業式举行(395名)
 23. 4. 1 学制改革に伴い修業年限3ヶ年
 新制高等学校となり東京都立第十女子新制高等学校と改称
 24. 3. 25 高等学校第1回卒業式举行(53名)
 24. 3. 31 高等女学校、中学校廃止
 24. 4. 1 男女共学を実施
 24. 6. 20 野間忠雄、東京都教育庁指導部長に転任、土屋順三第2代校長に就任
 25. 1. 26 東京都立豊島高等学校と改称
 25. 3. 18 第2回卒業式举行(204名)
 25. 4. 15 東京都立豊島高等学校校章制定
 25. 7. 31 校地拡張
 25. 10. 28 東京都立豊島高等学校校歌制定、15周年記念式举行
 26. 3. 15 第3回卒業式举行(389名)
 27. 3. 9 第4回卒業式举行(531名)
 28. 3. 8 第5回卒業式举行(401名)
 29. 3. 7 第6回卒業式举行(414名)
 29. 10. 3 20周年記念図書館着工
 30. 3. 5 第7回卒業式举行(407名)
 30. 3. 18 20周年記念図書館竣工
 30. 10. 1 土屋順三校長武蔵丘高等学校長に転任、田中喜一郎第3代校長に就任
 31. 3. 4 第8回卒業式举行(409名)
 31. 11. 3 20周年記念式举行
 32. 3. 2 第9回卒業式举行(415名)
 33. 3. 16 第10回卒業式举行(409名)
 33. 4. 1 田中喜一郎校長駒場高等学校長に転任、吉松国雄第4代校長に就任
 34. 3. 15 第11回卒業式举行(435名)

昭和 35. 3. 15 第12回卒業式挙行(446名)
 36. 3. 12 第13回卒業式挙行(432名)
 36. 9. 1 25周年記念プール竣工
 37. 3. 18 第14回卒業式挙行(424名)
 38. 3. 17 第15回卒業式挙行(418名)
 39. 3. 15 第16回卒業式挙行(415名)
 39. 3. 31 吉松国雄校長退職
 39. 4. 1 鈴木当之第5代校長に就任
 40. 3. 13 第17回卒業式挙行(422名)
 40. 8. 30 30周年記念生徒ホール竣工
 41. 3. 13 第18回卒業式挙行(486名)
 41. 3. 31 鈴木当之校長退職
 41. 4. 1 池田文雄第6代校長に就任
 41. 11. 9 30周年記念式挙行
 42. 3. 5 第19回卒業式挙行(420名)
 43. 3. 10 第20回卒業式挙行(419名)
 44. 3. 2 第21回卒業式挙行(403名)
 45. 3. 8 第22回卒業式挙行(395名)
 45. 4. 1 池田文雄校長戸山高等学校長に転任、田淵秀義第7代校長に就任
 46. 3. 7 第23回卒業式挙行(391名)
 46. 3. 31 新校舎第一期工事竣工(普通教室6、特別教室及準備室4、保健室、更衣室各1)
 新体育館竣工
 47. 3. 5 第24回卒業式挙行(382名)
 47. 4. 17 食堂並給食室竣工(普通教室18、その他9)
 47. 6. 8 新校舎第二期工事竣工(普通教室18、校長室、職員室、事務室、用務員室、会議室)
 48. 3. 8 第25回卒業式挙行(382名)
 48. 3. 31 新校舎第三期工事竣工(特別教室及準備室4、生徒全室2、管理室2)
 49. 3. 7 第26回卒業式挙行(371名)
 49. 3. 31 田淵秀義校長退職
 49. 4. 1 河本尚第8代校長就任
 50. 3. 7 第27回卒業式挙行(362名)
 50. 3. 25 プール更衣室ブロック平屋建竣工
 51. 3. 11 第28回卒業式挙行(359名)
 51. 5. 14 40周年記念行事「歩こう会」実施
 52. 3. 11 第29回卒業式挙行(366名)
 53. 3. 10 第30回卒業式挙行(358名)
 53. 3. 31 河本尚校長退職
 53. 4. 1 尾上知明第9代校長に就任
 54. 3. 9 第31回卒業式挙行(360名)
 55. 3. 10 第32回卒業式挙行(358名)
 56. 3. 10 第33回卒業式挙行(360名)
 56. 3. 31 尾上知明校長退職
 56. 4. 1 伊藤政貞第10代校長に就任
 57. 3. 27 南校舎増築、体育館ステージ、正面玄関、化学薬品庫、生徒ホール改築工事完成
 57. 3. 10 第34回卒業式挙行(360名)
 58. 3. 10 第35回卒業式挙行(371名)
 59. 3. 10 第36回卒業式挙行(402名)
 60. 3. 12 第37回卒業式挙行(357名)
 60. 3. 31 伊藤政貞校長退職
 60. 4. 1 上里照邦第11代校長に就任
 61. 3. 15 第38回卒業式挙行(393名)
 61. 10. 31 50周年記念庭園竣工

昭和 61. 11. 8 50周年記念式挙行
62. 3. 14 第39回卒業式挙行(435名)
63. 3. 15 第40回卒業式挙行(383名)
63. 4. 1 地域へ校庭開放
平成 元 3. 15 第41回卒業式挙行(377名)
元 3. 31 上里照邦校長退職
元 4. 1 小川一郎第12代校長に就任
2. 3. 14 第42回卒業式挙行(420名)
3. 3. 14 第43回卒業式挙行(386名)
4. 3. 14 第44回卒業式挙行(378名)
4. 3. 31 小川一郎校長退職
4. 4. 1 松村登喜男第13代校長に就任
5. 3. 13 第45回卒業式挙行(357名)
6. 3. 11 第46回卒業式挙行(353名)
7. 3. 10 第47回卒業式挙行(296名)
7. 3. 31 松村登喜男校長退職
7. 4. 1 小田幸世第14代校長に就任
8. 3. 12 第48回卒業式挙行(313名)
8. 11. 16 60周年記念式挙行
9. 3. 13 第49回卒業式挙行(277名)
9. 3. 31 小田幸世校長退職
9. 4. 1 中間健太第15代校長に就任
10. 3. 13 第50回卒業式挙行(282名)
11. 3. 12 第51回卒業式挙行(235名)
12. 3. 10 第52回卒業式挙行(240名)
13. 3. 10 第53回卒業式挙行(247名)
13. 3. 31 中間健太校長退職
13. 4. 1 中村洋一第16代校長に就任
14. 3. 9 第54回卒業式挙行(244名)
15. 3. 8 第55回卒業式挙行(235名)
16. 3. 13 第56回卒業式挙行(235名)
17. 3. 12 第57回卒業式挙行(228名)
17. 3. 31 中村洋一校長退職
17. 4. 1 渡邊健治第17代校長に就任
18. 3. 11 第58回卒業式挙行(237名)
18. 11. 18 70周年記念式挙行
19. 3. 11 第59回卒業式挙行(234名)
20. 3. 8 第60回卒業式挙行(235名)
20. 3. 31 渡邊健治校長退職
20. 4. 1 島田悦郎第18代校長に就任
21. 3. 7 第61回卒業式挙行(233名)
22. 3. 13 第62回卒業式挙行(235名)
22. 3. 31 島田悦郎校長退職
22. 4. 1 不殿讓第19代校長に就任
23. 3. 13 第63回卒業式挙行(240名)
23. 4. 1 東京都教育委員会より「重点支援校」「言語能力向上推進校」「OJT 推進指定モデル校」の指定を受ける。
24. 3. 10 第64回卒業式挙行(232名)
24. 3. 31 不殿讓校長退職
24. 4. 1 小宮山英明第20代校長に就任
25. 3. 9 第65回卒業式挙行(277名)
26. 3. 8 第66回卒業式挙行(238名)

- 27. 3. 14 第67回卒業式挙行（278名）
- 27. 4. 1 小宮山英明校長一橋高等学校長に転任、林眞司第21代校長に就任
- 28. 3. 12 第68回卒業式挙行（275名）
- 28. 4. 1 東京都教育委員会より「理数研究校」「都立学校土曜日の教育支援体制等構築事業」の指定を受ける。
- 28. 10. 26 80周年記念式典挙行
- 29. 3. 11 第69回卒業式挙行（274名）
- 30. 3. 10 第70回卒業式挙行（275名）
- 30. 4. 1 林眞司校長六本木高等学校長に転任、大山敏第22代校長に就任
- 31. 3. 9 第71回卒業式挙行（275名）
- 令和 2. 3. 14 第72回卒業式挙行（270名）
- 3. 3. 6 第73回卒業式挙行（264名）
- 3. 10. 26 新校舎・体育館・給食棟改築工事完成
- 4. 3. 5 第74回卒業式挙行（275名）
- 5. 3. 11 第75回卒業式挙行（270名）
- 5. 4. 1 大山敏校長大島海洋国際高等学校長に転任、原田能成第23代校長に就任
- 6. 3. 2 第76回卒業式挙行（271名）
- 6. 3. 29 グラウンド・テニスコート完成
- 7. 3. 8 第77回卒業式挙行（268名）
- 7. 4. 1 原田能成大泉高等学校・附属中学校長に転任、堀口俊英第24代校長に就任
- 8. 3. 6 第78回卒業式挙行（310名）
- 8. 4. 1 堀口俊英「新たな教育のスタイル」の実施校（仮称）（開設準備室）校長に転任、江川徹第25代校長に就任

卒 業 生 累 計		
高等女学校		2, 162
併設中学校		14
高 校	27, 932+310=	28, 242
合 計		30, 418

豊島高等学校の取組【教務部】

全日制課程 教務主任 風間 孝二

『1、豊島高等学校の特色』

令和7年度より着任された堀口校長が期待する豊島高等学校の特色です。

本校は、一人一人の「挑戦」を大切にし、多彩なフィールドで自分らしさを発揮できる場所です。ここでは、その一端を御紹介します。

1 世界を知り、自分を広げる 「グローバルな学び」

豊島高等学校は、**海外学校間交流推進校**に指定されています。**中国の姉妹校**である北京豊台第二中学校との交流も行っており、国際感覚と柔軟な思考力を育てる機会が豊富です。東京都教育委員会が実施している**留学支援制度**「次世代リーダー育成道場」を活用すれば、希望者は実際に世界に飛び出す体験ができます。「自分」と「世界」のつながりを感じながら、「自立」への一歩を踏み出してください。

2 進路実現に向けて、着実な学びをサポート

豊島高等学校の教育目標の一つは、「**一段高い進路希望の実現**」。土曜授業がない中でも、2・3年生向けの**特別進学クラス**や充実した**自習室**を生かし、塾に頼らずとも実力をつけることができます。一人一人の目標に合わせた支援を、学校全体で取り組んでいます。また、皆さんの科学的な好奇心をかき立てるイベントを企画していきます。

3 行事も日常も、全てが「挑戦の舞台」

生徒全員が大自然の中を10km・20km歩ききる**歩こう会**や、英語スピーチコンテスト、ビブリオバトル、生徒主体で実施する**体育祭・文化祭**、そして演劇・音楽・ダンスなどを有志で行う豊島高等学校にしかない**舞台祭**など、「自分らしく挑戦する」場面が豊富です。毎月のように行事がある学校だからこそ、仲間とともに、自分を思いきり表現できる日々が待っています。

4 毎日の積み重ねが、確かな力に

毎朝10分間の**朝学習**や、**英検**の全員受検、3年間をかけてテーマを深掘りする**探究活動**など、日々の学びを大切にしています。自分の「なぜ？」を出発点に、問いを立て、調べ、考え、まとめる経験は、確実にあなたの力になります。

豊島高等学校は、学びも行事も環境も、全てに「**挑戦のチャンス**」があります。

新しい校舎は清潔感があり、**制服**は上品でスタイリッシュ。きっとここで、あなたにしかできない物語が始まります。ぜひ一度、学校を訪れてみてください。生徒たちの輝く姿に、きっと心が動くはずです。

『2、各教科の特色』

○【国語科】

国語科では、全学問分野の基礎である知識・技能の習得と、表面的なグループ学習にとどまることなく、深く考え抜く力を育成する「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。

○【数学科】

数学的活動を通して、論理的・体系的な理解を重視しています。また数学Ⅰで習熟度別指導を実施しており、国公立受験だけでなく、数学を利用する私立文系受験にも対応しています。2年次には数学Ⅱ、数学B、数学Cの3科目を必修で学び、共通テストの数学に対応できるようにしています。さらに数学Ⅲの選択授業を行っており、医学部や理工学部受験に対応しています。

○【英語科】

1年次では少人数授業、2年次では習熟度別授業で書く力を強化し、朝学習では単語・熟語、読解の小テストで語彙力と速読力の向上を図ります。全学年でネイティブの先生との授業や夏期講習を実施し学力向上を目指します。

○【地理歴史・公民科】

地理歴史・公民科は1年次に地理総合・歴史総合、2年次に日本史探究・世界史探究から選択した一科目と公共を学び、3年次には生徒が必要に応じて科目を選択します。ICT活用やグループワークも取り入れ、生徒と教員が双方向で学び合える授業を行っています。

○【総合的な探究の時間】

1年次には基礎探究、2年次には理数探究基礎、3年次には自由進路探究を行います。年間2回の探究発表会で成果発表するとともに、探究レポートを作成することで、そこで身に付けた力を進路実現へと結びつけます。

○【理科】

1年次で化学基礎・生物基礎、2年次で生物と化学の内から選択した一科目と物理基礎を学びます。どの科目でも大学受験を意識した授業を展開しています。また、自然科学は現象を観察し、その中に傾向や規則性を発見し発達してきた学問です。体験すること、自ら考えることを大切に授業も行っています。

《教育課程表》

教育課程																																														
単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32														
教科等	国語			地理歴史			数学			理科			保健体育			芸術		外国語			情報			その他			合計 32単位																			
1学年	現代の国語			言語文化			地理総合			歴史総合			数学Ⅰ			数学A			化学基礎			生物基礎			体育			保健		※美術Ⅰ 書道Ⅰ		音楽Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ			情報Ⅰ			人間と社会（総合） H R			

※この科目の中から1科目を選択します。

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
教科等	国語				公民		数学						選択科目			理科		保健体育		外国語						家庭		その他				
2 学年	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅱ	数学B	数学C	※ 日本史探究 世界史探究 化学 生物			物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	総合的な 探究の時間		H R	合計 32 単位													

※この科目の中から1科目を選択します。

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
教科等	国語		保健体育		外国語					選択科目																				その他		
3 学年	論理国語	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	選択科目8～18単位 以下の科目から8単位分は必修選択科目として必ず受講します。 その他の科目は自由選択科目として選択して受講します。																									総合的な探究の時間	H R	合計 20530単位

■3学年選択科目

国語	地理歴史・公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報
現代古文 現代文 演習	地日世政 理本界界 探史史史 究演特演 習講講講	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ A B C α β 演習	物理 物展化発 理展展生 演化基生 習学礎物 演習演習	スポーツ 演習	音楽 表現	英語 英語 演習 演習 基礎 発展	食生活	情報Ⅱ

※3学年の選択科目については、変更になる場合があります。

進学動向と入学生の変化

【進路指導部】

全日制課程 進路主任 澤木 考耶

■進路状況

本校で定める学校経営計画には「一段高い進路希望の実現」というキーワードがあり、行ける進路に行くのではなく、行きたい進路を自ら考え、その目標に向けて努力をし、実現していくことを目標としています。このような目標に向かった取組もあり、近年は進路実績の向上が見られるようになっていきます。

右の表1は令和3年3月から令和7年3月に卒業した現役生の進路状況です。比較対象として、平成25年3月の状況も掲載しました。全体的には四年制大学への進学率が高まり、短大や専門学校に進学する生徒が減少しています。また、国公立大学への進学者も年々増加しています。「その他」に該当するような進学準備者も年々減少しており、現役での四年制大学への進学が一般的になってきました。

図1は、難関大学の現役生の合格件数推移を示したもので、その数も年々増加しています。国公立大学についても、年々受験者数が増加傾向にあり、地方の国立大学に対しても積極的に挑戦するようになってきました。表2は令和2年3月～令和7年3月にかけて、現役生たちが合格した具体的な国公立大学名です。令和3年3月の弘前大学医学部医学科をはじめ、令和7年3月は北海道大学や東北大学という旧帝国大学に合格するなど最難関大学への道も拓かれるようになってきました。

短期大学はその数自体が減少しており、本校からの希望者も減少しています。専門学校についても、大学進学希望者の増加に伴い、その数が減少傾向にあります。給付型奨学金が普及したこともあり、経済的な理由で大学進学をあきらめなければならない状況がかなり改善しています。少子化の影響で大学自体は入りやすくなってきてはいますが、一方で当然のように大学に進学するような風潮があることも事実です。何のために大学に行くのかを考え、意思をもって進路選択をさせていくことが進路指導にとって重要なことになっていきます。

表1 (人)

卒業年・月	卒業生数	国公立大	私立大	短大	専門	就職	その他
H25.3	277	2	190	13	33	3	37
R3.3	263	14	198	3	18	3	27
R4.3	275	9	188	2	31	6	39
R5.3	270	12	219	2	16	2	19
R6.3	271	15	221	2	15	3	15
R7.3	268	18	226	0	9	2	13

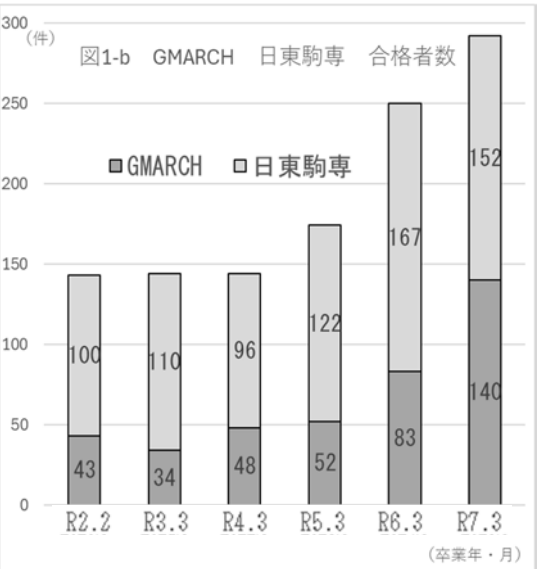
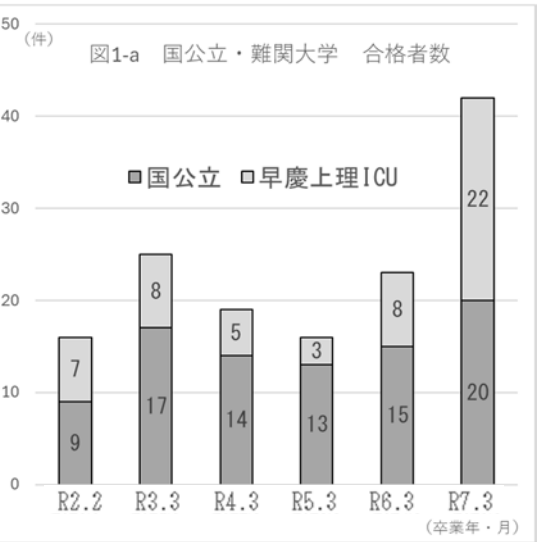


表2 (数字は人数)

R3.3	茨城2、弘前(医)、前橋工科、埼玉県立、山梨、東京都立、長野県立、東京農工、埼玉4、尾道市立
R4.3	茨城、東京都立、静岡、長崎、埼玉2、大分、福島、筑波
R5.3	宇都宮、岡山、信州、東京海洋、東京都立、福島、横浜国立、山梨、埼玉県立2、名寄市立
R6.3	茨城、横浜国立、高知工科、埼玉2、静岡、筑波、電気通信2、東京都立4、諏訪東京理科、川崎市立看護
R7.3	北海道、東北、山形2、津k場2、茨城3、埼玉5、東京農工、山梨、富山、愛媛、九州工業、国立看護

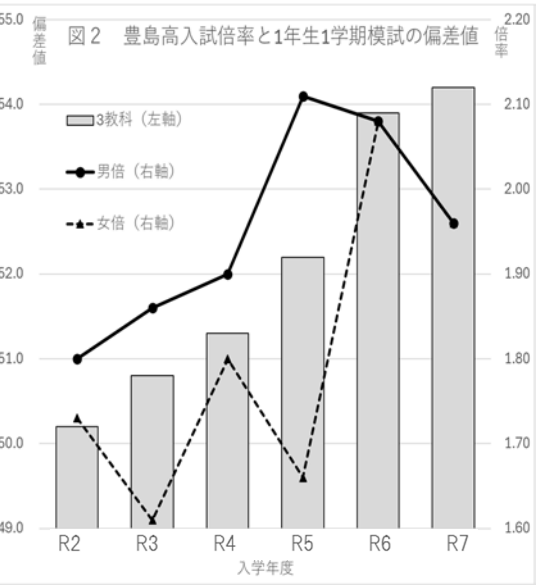
■特進クラスの設置

本校では令和元年度入学生(令和4年3月卒)より特進クラスが創設されました。2年次から1クラスを特進クラスとして運営し、特に一段高い進路希望を実現することを目標としてきました。

コロナ禍における立ち上げもあり、様々な苦労もありましたが、特進4期生(令和7年3月卒)は国公立大学に15名進学するなど進学実績に大きな向上が見られるようになりました。特進以外のクラスにおいても、進学に対する意識の向上が見られ、全体的な成績・進学実績の向上につながりました。

■高まる豊島高等学校人気と入学者の変化

図2は豊島高等学校の入試倍率と、1年生の1学期に行われるベネッセによる模試の3教科の学年平均偏差値を示しています。(都立高等学校は令和6年度入学生より、男女別定員を廃止しました。)豊島高等学校は都立高等学校の中でも屈指の倍率の高さを維持しており、入学してくる生徒の学力も年々向上しています。これまで7クラス体制だった豊島高等学校は令和5年度入学生以降は8クラス体制となっていますが、これまで以上に高い学力を有した生徒たちが集まるようになってきています。



■進路指導体制

現在本校の進路計画は下段の表のようになっています。取組は常に試行錯誤で、少しずつ変化を取り入れながら柔軟に行っております。担任を中心に進路指導部はもちろん、教科やほかの分掌の立場から、学校全体で生徒の一段高い進路希望の実現に向けて支えています。

豊島高等学校は開校90年を迎えた伝統校ですが、進路実現という点ではいまだ発展途上にあると言えます。個々の生徒が持つ潜在能力を考えれば、進学実績はさらに伸びていくと思われます。高等学校生を取り巻く環境は常に変化しています。変化に応じた指導内容の見直しのために、日々工夫と検証をしながら取り組んでいく必要があります。それらを実現するために、さらに学校全体がそれぞれの立場から互いに連携協力し、支えあうことが求められています。

	1年	2年	3年
方針	自己理解を促すとともに職業観を育て、将来の生き方を考える。	将来の進路計画をさらに発展させ、目標実現への展望を持つ。	具体的な進路計画・目標を確定し、進路実現に向かって努力する。
4月	オリエンテーション スタディサポート 進路調査	スタディサポート 理数探究スタート 進路調査	第1回全統共通テスト模試(河合塾) 奨学金説明会 進路調査
5月			進路ガイダンス
6月	文理選択適性検査		大学入学共通テスト模試(ベネッセ)
7月	総合学力テスト(ベネッセ) 進路ガイダンス 大学研究室訪問 看護体験(各自)	総合学力テスト(ベネッセ) 分野別ガイダンス 3年次選択科目説明会 大学研究室訪問 看護体験(各自)	入試説明会(模試分析) 指定校推薦説明会 保護者対象推薦説明会 看護体験(各自)
8月	オープンキャンパス 夏期講習	オープンキャンパス 夏期講習	オープンキャンパス 夏期講習 第2回全統記述模試(河合塾)
9月	2年次選択科目指導	3年次選択科目指導	共通テスト説明会 第1回駿台・ベネッセ 共通テスト模試
10月	大学出張講義 国公立大学ガイダンス 進路調査	3年次選択科目調査 国公立大学ガイダンス 進路調査	第2回駿台・ベネッセ記述模試 大学入試説明会 出願校決定ガイダンス 進路調査
11月	総合学力テスト(ベネッセ)	総合学力テスト(ベネッセ)	全統ブレ共通テスト模試(河合塾公開)
12月	看護医療・公務員ガイダンス 豊島セミナー 冬期講習	3年0学期ガイダンス 第一志望届 豊島セミナー 探究中間発表会 冬期講習	ケース会議 共通テスト受験前説明会 冬期講習
1月	冬期講習 総合学力テスト(ベネッセ) 実用英語技能検定 進路調査	冬期講習 全統共通テスト高2模試(河合塾) 実用英語技能検定 進路調査	冬期講習 共通テストリサーチ 共通テストリサーチ 私立大学一般選抜 国公立大学出願指導
2月			国公立大学2次試験(前期)
3月	探究最終発表会 先輩の話を聞く会 春期講習	探究最終発表会 先輩の話を聞く会 春期講習	国公立大学2次試験(後期)

生徒部のあゆみ【生活指導部】

全日制課程 令和7年度生活指導主任

沖 野 弘 尚

『学校行事』

この10年の豊島高等学校の学校行事は、校舎改築、コロナ禍に伴い全ての学校行事を停止せざる得ない状況に追い込まれていた。

その中で「何ならできるか？」と生徒たちとアイデアと出し合い、教職員、PTAを含む保護者の協力によって見事に与えられた『制約』をクリアしてバージョンアップすることに成功した。

《歩こう会》

令和7年5月に、歩こう会は49回目を迎えた。

長年利用させていただいてきた『子の権現』での活動ができなくなり、昭和記念公園、多摩湖周辺、川越周辺、鎌倉～江ノ島、横浜周辺、高尾山と場所や形態を変えながらも豊島高等学校の伝統行事を守り続けている。令和4年には生徒有志による準備委員会を立ち上げ、準備委員が主体となって企画や運営を行っている。

新入生にとっては、入学して初めての行事となる。非日常を体験したりクラスメイトと親睦を深めたりなど、新しい環境で張りつめていた心を解きほぐす絶好の機会となっている。

【資料1 歩こう会開催場所】

年度	場所
平成29	子の権現
平成30	子の権現
令和1	狭山湖
令和2	コロナのため中止
令和3	昭和記念公園
令和4	江ノ島（鎌倉～江ノ島）
令和5	川越（富士見台～初雁公園）
令和6	横浜（新丸子～山下公園）
令和7	高尾山

《体育祭》

校舎改築に伴い、平成29年度の体育祭を最後に、東京体育館、所沢市民体育館、板橋区新河岸陸上競技場と転々としながら体育祭を実施した。令和6年4月に本校グラウンドが完成したが、あまりの暑さに冷房が効いた体育館の方が良いというのであるから皮肉もある。

平成30年に生徒有志による準備委員を立ち上げ、準備委員が主体となって企画運営を行っている。その主体的な活動が認められて、令和6年には、東京都教育委員会表彰を受賞した。

【資料2 体育祭開催場所】

年度	場所
平成29	校庭
平成30	東京体育館
令和1	所沢市民体育館
令和2	所沢市民体育館
令和3	新河岸陸上競技場
令和4	東京体育館
令和5	所沢市民体育館
令和6	校庭
令和7	校庭

《文化祭》

豊島祭は時代の流れとともに大きく様変わりしていった。

弁論大会は、平成29年に52回を迎えたがその後弁士が立たず、プレゼンに形を変えたがコロナ禍とともに消滅した。

舞台祭は、練馬文化センターをお借りして実施。同窓会に使用料を一部負担していただき開催していたがこちらもコロナ禍を機に本校体育館で実施することとなった。

文化祭は、2日間とも一般公開で実施。吹奏楽部を鑑賞するために毎年多くの方に参加していただいている。

コロナ禍では、学年ごとに文化祭を実施。学年のクラス委員が中心となって大いに盛り上げた。

令和5年から通常の文化祭に戻したが、在校生がコロナ禍だったため文化祭を観たことがない、参加したことがなかったため様々なトラブルが起きた。

令和6年は、一日目は一般公開はなし、令和7年は一日目に保護者のみ公開と生徒の実情に

合わせてマイナーチェンジを行ってきた。

令和7年度の文化祭では来校者が二日間で4000人を超え、豊島高等学校の人気ぶりを証明した。

平成30年にはじめて中夜祭準備委員会を立ち上げ、軽音だけではなく、ダンスやファッションショーなど準備委員が企画運営をして大いに盛り上げた。

【 資料3 豊島祭開催内容 】

年度	スローガン
平成29	豊島祭～雨ニモマケズ～
平成30	豊 MAGIC
令和元	君と豊フェス
令和2	文化発表会
令和3	コロナに負けるな
令和4	最高の笑顔をもう一度 CAN MAKE TOSHIMA
令和5	Neo TOSHIMA Culture Festival ～笑顔輝く最高の文化祭に～
令和6	Bloom for you
令和7	一瞬を一生の思い出に

《クラスマッチ》

平成30年度を最後に豊島生の実態と熱中症予防の観点から年2回実施していた球技大会は、3月末の1回へと変更になった。

令和元年の球技大会は、校舎改築に伴いグラウンドがなかったため隣の旧第十中学校跡地のグラウンドも借用して球技大会を実施した。

令和2年の球技大会は、コロナによる『接触のある運動禁止』、『学年をまたがる活動禁止』という制約の中、学年ごとに接触のない球技を行い、大いに盛り上がった。

令和3年の球技大会に向けて、「コロナの中でもできる運動はないか?」、「ゲームが好きな生徒たちも楽しめる運動はないか?」と模索していたところ、『HADO』と出会う。都内高等学校での実施は初めてだったためテレビ局や新聞社の取材も受けた。その後も学校からお台場のHADOスタジオに会場を変更したが継続してHADOを実施。

同時に球技に捉われずクラス対抗戦を行うことから名称を『クラスマッチ』に変更した。

【 資料4 クラスマッチ開催内容 】

年度	場所
平成29	球技大会（7月・3月）
平成30	球技大会（7月・3月）
令和1	球技大会
令和2	接触のない球技
令和3	HADO・トランプ競技
令和4	球技・HADO
令和5	球技・HADO
令和6	球技・HADO
令和7	球技・HADO



『部活動』

部活動名	部員人数	主な活動場所	活動内容紹介	90周年を迎えて、これからの意気込み
運動部				
1 サッカー	39名	グラウンド 上二中グラウンド	火・水・金・土・日に活動。土日は他校との練習試合があります。	チーム一丸となってこれからも上へ目指して頑張っていきます。
2 軟式野球	14名	校庭	火・木・金・土・日に活動。土日は他校との練習試合があります。	先輩後輩関係なくチーム一丸となってこれからも活動していきます！
3 男子硬式テニス	31名	テニスコート	火・水・金・土・日に活動。平日は練習、土日は他校と練習試合をする時もあります。	充実した設備を存分に活かして、これからも明るく元気に活動していきます！
4 女子硬式テニス	20名	テニスコート	火、水、木、金、土、日でテニスをします。	切磋琢磨しながら楽しむことを忘れず、それぞれの目標に向けて活動します。
5 陸上	36人	グラウンド アベニュー 外周	月・火・水・金・土曜日	個人種目ですが、みんなで支え合いながら楽しく頑張ります。
6 男子バスケ	34人	体育館 トレーニングルーム	月、火、水、金、土、日	大会等に向けてチーム一丸となって頑張っています。
7 女子バスケ	11名	体育館	火、水、木、金、土、日 火曜日はトレで練習 水曜日は柔道場でトレーニング	みんなで仲良く協力して、一生懸命頑張ります。
8 男子バレー	32名	体育館	月、火、水、木、金、土、日 水曜日はトレ、金曜日は柔道場でトレーニング、土日は他校との練習試合もあります。	これからも部員全員で頑張っています。
9 女子バレー	20名	体育館	月、火、水、木、土に活動。 火曜日本曜日はトレーニングをしています。	これからも部員同士協力し合いより高みを目指して練習していきます。
10 バドミントン	45名	体育館	月、火、木、金、土、日に活動 週に4回実力別に分かれてそれぞれにあった練習をしています。	学年関係なしに仲良く練習しています。
11 柔道	15名	柔道場	火、水、木、金、土、日に活動 土日は出稽古や大会が多い	個人戦は都大会入賞、団体戦は都大会出場を目標に頑張っています。
12 卓球	15人	トレーニングルーム	月、水、土に活動	学年の壁なく楽しく練習していきます！
13 ダンス	56人	アベニュー	火、水、金、土に活動	大会、校内の公演に向けて仲良く練習しています。
文化部				
1 吹奏楽	121名	音楽室 4階普通教室	活動日は火、水、金、土、日で夏のコンクールや文化祭での演奏、新人戦、3月の定期演奏会が主な活動内容です。	これからも先輩方が築いてこられた伝統を大切に受け継ぎながら、聴いてくださる方々の心に届く演奏を目指して日々練習に励んでいきます！これからも感謝の気持ちを忘れずに部員一同努力を重ねていきますので、今後とも応援よろしくお願いします！
2 演劇	12名	講義室 1、2	火、水、金、土に活動、基礎的なトレーニングから定期公演の稽古など	演劇を通して、これからも部員一同、精一杯活動していきます！！
3 科学	男子5名 女子1名	化学室	毎週水曜日から金曜日に、科学に関する知識を深め、新たに思いついた実験を行います。	より面白く、けれどもしっかりと、部員一丸となって活動していきます！
4 美術	女子6名 男子1名	美術室	火、金に活動 文化祭展示、黒板アート甲子園に参加、中央展への出品など	一人一人の作品の制作も、全体での作品の制作もお互いに協力してより良い作品づくりに繋げていきたいです！
5 茶道	13名	和室	毎週金曜日に表千家の流派の作法を学んでいます。	これからも部員同士、協力し合いながら活動していきます！
6 料理研究	62名	調理室	月1回の火曜とテスト最終日に料理を作っています。	これからも和気あいあいとした雰囲気で作る様々な料理を作っていきます！
7 パソコン	67名	CALL 室	毎週火、水、金、土曜日に活動しており3Dモデリングやイラスト、プログラミングなど様々な活動を行っています。	個人の活動が多い部活ですが文化祭などでは全員で協力して、普段の活動ではパソコン部の穏やかな雰囲気でもこれからも活動していきます！
8 漫画・イラスト	18名	美術室	毎週水曜日にイラストを描いています。年に1回コミック講習会を行っています。	これからも先輩後輩関係なく、仲良く楽しく活動していきます！
9 写真	12名	生物室、他	主に学校行事の写真を撮ったり、大会に出場もしています。	これからも、様々な写真を撮り、豊島高校の魅力を伝えていきます。
10 社会科同好会	11名	進路室 ラーニングコモンズ、他	不定期で学校外のイベントに参加したり、発電所の見学に行ったりしています。	これからも顧問の先生のもと様々な活動を行っています！

定時制課程 教育活動

学校沿革（定時制課程）

（令和8年4月1日現在）

昭和	17.	4. 24	東京府立清明女学校（夜間部）開校 東京府立第十高等女学校長野間忠雄校長兼任
〃	18.	4. 1	東京府立第十高等女学校第二部（夜間部）開設
〃	18.	7. 1	都制実施により校名を東京都立第十高等女学校と改称
〃	20.	3. 20	府立清明女学校第1回卒業式を举行
〃	20.	3. 31	府立清明女学校廃止
〃	21.	3. 24	都立第十高等女学校第二部（夜間部）第1回卒業式を举行
〃	22.	3. 17	同 上 第2回卒業式を举行
〃	23.	3. 21	同 上 第3回卒業式を举行
〃	23.	4. 1	学制改革に伴い修業年限4箇年の新制高等学校定時制課程を置き東京都立第十女子新制高等学校と改称
〃	24.	3. 23	都立第十高等女学校第二部（夜間部）第4回卒業式を举行
〃	24.	3. 25	高等学校（定時制課程）第1回卒業式を举行
〃	24.	4. 1	男女共学を実施
〃	24.	6. 20	野間忠雄東京都教育庁指導部長に転任、土屋順三校長着任
〃	25.	1. 6	東京都立豊島高等学校定時制課程と改称
〃	25.	3. 21	都立豊島高等学校第2回卒業式を举行
〃	25.	3. 21	都立第十高等女学校第二部（夜間部）第5回卒業式を举行
〃	25.	4. 15	校章を制定、同7. 31校地を拡張、同10. 28校歌を制定
〃	26.	3. 21	都立豊島高等学校第3回卒業式を举行
〃	27.	3. 21	同 上 第4回 〃
〃	28.	3. 21	同 上 第5回 〃
〃	29.	3. 21	同 上 第6回 〃
〃	29.	10. 1	土屋順三都立武蔵丘高等学校長に転任、田中喜一郎校長着任
〃	30.	3. 21	都立豊島高等学校第7回卒業式を举行
〃	31.	3. 21	同 上 第8回 〃
〃	32.	3. 21	同 上 第9回 〃
〃	33.	3. 21	同 上 第10回 〃
〃	33.	4. 1	田中喜一郎校長都立駒場高等学校長に転任、吉松国雄校長着任
〃	34.	3. 21	都立豊島高等学校第11回卒業式を举行
〃	35.	3. 20	同 上 第12回 〃
〃	36.	3. 19	同 上 第13回 〃
昭和	37.	3. 21	同 上 第14回 〃
〃	38.	3. 10	同 上 第15回 〃
〃	39.	3. 10	同 上 第16回 〃
〃	39.	3. 31	吉松国雄校長勇退、同4. 1鈴木当之校長着任
〃	40.	3. 14	都立豊島高等学校第17回卒業式を举行
〃	41.	3. 20	同 上 第18回 〃
〃	41.	3. 31	鈴木当之校長勇退、同4. 1池田文雄校長着任
〃	42.	3. 11	都立豊島高等学校第19回卒業式を举行
〃	42.	9. 1	20教室改修工事完了
〃	43.	2. 20	屋外照明灯6基（48灯）設置
〃	43.	3. 17	都立豊島高等学校第20回卒業式を举行
〃	43.	8. 29	2教室改修工事完了
〃	44.	3. 9	都立豊島高等学校第21回卒業式を举行
〃	45.	3. 1	同 上 第22回 〃

〃	45.	4.	1	池田文雄校長都立戸山高等学校長に転任、田淵秀義校長着任
〃	46.	3.	14	都立豊島高等学校第23回卒業式を举行
〃	46.	3.	31	新校舎第一期工事竣工、普通教室6、特別教室及準備室4、保健室・更衣室各1、新体育館竣工
〃	47.	3.	12	都立豊島高等学校第24回卒業式を举行
〃	47.	4.	17	食堂並に給食室竣工、普通教室18、その他9
〃	48.	3.	12	都立豊島高等学校第25回卒業式を举行
〃	48.	3.	31	新校舎第三期工事竣工、特別教室及準備室4、生徒会室2、管理室2、生徒部室一棟
〃	49.	3.	12	都立豊島高等学校第26回卒業式を举行
〃	49.	3.	31	田淵秀義校長勇退、同4.1河本尚校長着任
〃	50.	3.	12	都立豊島高等学校第27回卒業式を举行
〃	51.	3.	12	同 上 第28回 〃
〃	52.	3.	12	同 上 第29回 〃
〃	53.	3.	12	同 上 第30回 〃
〃	53.	3.	31	河本尚校長勇退、同4.1尾上知明校長着任
〃	54.	3.	10	都立豊島高等学校第31回卒業式を举行
〃	55.	3.	11	同 上 第32回 〃
〃	56.	3.	11	同 上 第33回 〃
〃	56.	3.	31	尾上知明校長勇退、同4.1伊藤政貞校長着任
〃	57.	1.	27	体育館ステージ、特別教室工事完了
〃	57.	3.	14	都立豊島高等学校第34回卒業式を举行
〃	58.	3.	13	同 上 第35回 〃
〃	59.	3.	11	同 上 第36回 〃
〃	60.	3.	10	同 上 第37回 〃
〃	60.	3.	31	伊藤政貞校長勇退、同4.1上里照邦校長着任
〃	61.	3.	9	都立豊島高等学校第38回卒業式を举行
〃	61.	4.	1	給食調理の業務委託施行される。
〃	62.	3.	8	都立豊島高等学校第39回卒業式を举行
〃	63.	3.	6	同 上 第40回 〃
平成	元	3.	5	同 上 第41回 〃
〃	元	3.	31	上里照邦校長勇退、同4.1小川一郎校長着任
〃	2.	3.	4	都立豊島高等学校第42回卒業式を举行
〃	3.	3.	17	同 上 第43回 〃
〃	4.	3.	8	同 上 第44回 〃
〃	4.	3.	31	小川一郎校長勇退、同4.1松村登喜男校長着任
〃	5.	3.	7	都立豊島高等学校第45回卒業式を举行
〃	6.	3.	6	同 上 第46回 〃
平成	7.	3.	5	同 上 第47回 〃
〃	7.	3.	31	松村登喜男校長勇退、同4.1小田幸世校長着任
〃	8.	3.	9	都立豊島高等学校第48回卒業式を举行
〃	9.	3.	8	同 上 第49回 〃
〃	9.	3.	31	小田幸世校長勇退、同4.1中間健太校長着任
〃	10.	3.	8	都立豊島高等学校第50回卒業式を举行
〃	11.	3.	7	同 上 第51回 〃
〃	12.	3.	5	同 上 第52回 〃
〃	13.	3.	4	同 上 第53回 〃
〃	13.	3.	31	中間健太校長勇退、同4.1中村洋一校長着任
〃	14.	3.	3	都立豊島高等学校第54回卒業式を举行
〃	15.	3.	8	同 上 第55回卒業式を举行
〃	16.	3.	6	同 上 第56回卒業式を举行
〃	17.	3.	5	同 上 第57回卒業式を举行

// 17. 3. 31 中村洋一校長勇退、同4. 1渡邊健治校長着任
 // 18. 3. 4 都立豊島高等学校第58回卒業式を举行
 // 19. 3. 3 同 上 第59回 //
 // 20. 3. 7 同 上 第60回 //
 // 20. 3. 31 渡邊健治校長勇退、同4. 1島田悦郎校長着任
 // 21. 3. 6 都立豊島高等学校第61回卒業式を举行
 // 22. 3. 5 同 上 第62回 //
 // 22. 3. 31 島田悦郎校長勇退、同4. 1不殿讓校長着任
 // 23. 3. 7 都立豊島高等学校第63回卒業式を举行
 // 24. 3. 8 同 上 第64回 //
 // 24. 3. 31 不殿讓校長勇退、同4. 1小宮山英明校長着任
 // 25. 3. 8 都立豊島高等学校第65回卒業式を举行
 // 26. 3. 7 同 上 第66回卒業式を举行
 // 26. 3. 25 同 上 第 1回三修制卒業認定式を举行
 // 27. 3. 6 同 上 第67回卒業式を举行
 // 27. 3. 24 同 上 第 2回三修制卒業認定式を举行
 // 27. 4. 1 小宮山英明校長都立一橋高等学校長に転任、林眞司校長着任
 // 28. 3. 4 都立豊島高等学校第68回卒業式を举行
 // 28. 3. 24 同 上 第 3回三修制卒業認定式を举行
 // 29. 3. 3 同 上 第69回卒業式を举行
 // 30. 3. 2 同 上 第70回 //
 // 30. 4. 1 林眞司校長都立六本木高等学校長に転任、大山敏校長着任
 // 31. 3. 8 都立豊島高等学校第71回卒業式を举行
 // 31. 3. 22 同 上 第 4回三修制卒業認定式を举行
 令和 2. 3. 6 同 上 第72回卒業式を举行
 // 3. 3. 5 同 上 第73回卒業式を举行
 // 4. 1. 7 新校舎使用開始
 // 4. 3. 4 都立豊島高等学校第74回卒業式を举行
 // 5. 3. 3 同 上 第75回卒業式を举行
 // 5. 4. 1 大山敏校長都立大島海洋国際高等学校長に転任、原田能成校長着任
 // 6. 3. 8 都立豊島高等学校第76回卒業式を举行
 // 6. 3. 29 グラウンド改修工事完了
 // 7. 3. 7 都立豊島高等学校第77回卒業式を举行
 // 7. 4. 1 原田能成校長都立大泉高等学校長兼附属中学校長に転任、堀口俊英校長着任
 // 8. 3. 6 都立豊島高等学校第78回卒業式を举行
 // 8. 4. 1 堀口俊英「新たな教育のスタイル」の実施校（仮称）（開設準備室）校長に転任、
 江川徹第25代校長に就任

卒業生数

東京府立清明女学校
東京都第十高等女学校

第1回生	(昭20年卒)	37名
第1回生	(昭21年卒)	47名
第2回生	(昭22年卒)	43名
第3回生	(昭23年卒)	24名
第4回生	(昭24年卒)	31名
第5回生	(昭25年卒)	17名
	(昭23年卒)	32名

併設中学校
東京都立豊島高等学校

第1回生 (昭24年卒)	12名	第39回生 (昭62年卒)	71名	第77回生 (令 7年卒)	7名
第2回生 (昭25年卒)	29名	第40回生 (昭63年卒)	66名	第78回生 (令 8年卒)	6名
第3回生 (昭26年卒)	23名	第41回生 (平元年卒)	71名	計	4,385名
第4回生 (昭27年卒)	34名	第42回生 (平2年卒)	70名		
第5回生 (昭28年卒)	97名	第43回生 (平3年卒)	74名		
第6回生 (昭29年卒)	98名	第44回生 (平4年卒)	73名		
第7回生 (昭30年卒)	96名	第45回生 (平5年卒)	51名		
第8回生 (昭31年卒)	91名	第46回生 (平6年卒)	59名		
第9回生 (昭32年卒)	71名	第47回生 (平7年卒)	36名		
第10回生 (昭33年卒)	74名	第48回生 (平8年卒)	27名		
第11回生 (昭34年卒)	98名	第49回生 (平9年卒)	41名		
第12回生 (昭35年卒)	107名	第50回生 (平10年卒)	40名		
第13回生 (昭36年卒)	101名	第51回生 (平11年卒)	33名		
第14回生 (昭37年卒)	90名	第52回生 (平12年卒)	30名		
第15回生 (昭38年卒)	117名	第53回生 (平13年卒)	30名		
第16回生 (昭39年卒)	101名	第54回生 (平14年卒)	30名		
第17回生 (昭40年卒)	81名	第55回生 (平15年卒)	40名		
第18回生 (昭41年卒)	99名	第56回生 (平16年卒)	36名		
第19回生 (昭42年卒)	118名	第57回生 (平17年卒)	26名		
第20回生 (昭43年卒)	102名	第58回生 (平18年卒)	39名		
第21回生 (昭44年卒)	118名	第59回生 (平19年卒)	38名		
第22回生 (昭45年卒)	98名	第60回生 (平20年卒)	41名		
第23回生 (昭46年卒)	86名	第61回生 (平21年卒)	37名		
第24回生 (昭47年卒)	62名	第62回生 (平22年卒)	40名		
第25回生 (昭48年卒)	57名	第63回生 (平23年卒)	43名		
第26回生 (昭49年卒)	63名	第64回生 (平24年卒)	28名		
第27回生 (昭50年卒)	71名	第65回生 (平25年卒)	42名		
第28回生 (昭51年卒)	60名	第66回生 (平26年卒)	32名 (三修制1名含)		
第29回生 (昭52年卒)	34名	第67回生 (平27年卒)	35名 (三修制3名含)		
第30回生 (昭53年卒)	36名	第68回生 (平28年卒)	27名 (三修制1名含)		
第31回生 (昭54年卒)	34名	第69回生 (平29年卒)	36名		
第32回生 (昭55年卒)	32名	第70回生 (平30年卒)	28名		
第33回生 (昭56年卒)	39名	第71回生 (平31年卒)	33名 (三修制1名含)		
第34回生 (昭57年卒)	48名	第72回生 (令 2年卒)	16名		
第35回生 (昭58年卒)	38名	第73回生 (令 3年卒)	25名		
第36回生 (昭59年卒)	40名	第74回生 (令 4年卒)	14名		
第37回生 (昭60年卒)	40名	第75回生 (令 5年卒)	12名		
第38回生 (昭61年卒)	70名	第76回生 (令 6年卒)	6名		

定時制課程における教育課程 等の変遷【教務部】

定時制課程 教務主任 藤武 秀和

過去 10 年間でどんな時代であったのかを、本校定時制課程の教育活動の実態が如実に表しているといえる。

世の中での大きな出来事としては、令和 2～4 年にかけては新型コロナウイルス感染症が流行した。これに伴い学校行事等の縮減が余儀なくされ、本校の修学旅行も中止に追い込まれた。

学校教育においては、学習指導要領の改訂が行われ、生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成できるよう、カリキュラムが刷新され、都立高等学校においても一人 1 台端末を各生徒が日常学習の中で活用していくようになった。

また、本校定時制課程においては、学級減となり生徒数の減少傾向が続いてきたが、令和 6 年度の入学生から増加傾向へと転じている。

教育課程

平成 31 年度入学生までの教育課程は、平成 21 年 3 月告示高等学校学習指導要領(以下、「21 要領」と表記)のもとで編成されていた。

国語総合(1 年 3 単位、2 年 2 単位)、現代文 B(3 年 2 単位、4 年 3 単位)、世界史 A(2 年 2 単位)、現代社会(1 年 2 単位)、政治・経済(4 年 2 単位)、数学 I(1 年 3 単位、2 年 2 単位)、数学 A(3 年 3 単位、4 年 2 単位)、物理基礎(3 年 2 単位)、化学基礎(2 年 2 単位)、生物基礎(1 年 2 単位)、地学基礎(4 年 3 単位)、体育(1～4 年各 2 単位)、保健(1～2 年各 1 単位)、芸術 I(美工書から一つ 1 年 2 単位)、芸術 II(美工書から一つ 2 年 2 単位)、コミュニケーション英語 I(1～2 年各 3 単位)、英語会話(3～4 年各 2 単位)、家庭総合(2～3 年各 2 単位)、社会と情報(3 年 3 単位)については、科目および単位数について、21 要領下での教育課程において、途中での変更は見られなかった。

一方で、途中での変更が見られた教科もある。平成 28 年度入学生まで、日本史 A(3 年 2 単位、4 年 2 単位)を履修させていたところが、平成 29 年度入学生からは、日本史 A(3 年 2 単位)と地理 A(4 年 2 単位)を履修させるようになり、平

成 30 年度入学生まで、総合的な学習の時間(1～4 年各 1 単位)を履修させていたところが、平成 31 年度入学生からは、総合的な探究の時間(1～4 年各 1 単位)を履修させるようになった。[いずれの科目も 1 年 1 単位分は、奉仕または人間と社会の代替としてである。]

令和 4 年度入学生からの教育課程は、平成 30 年 3 月告示高等学校学習指導要領(以下、「30 要領」と表記)のもとで編成されている。

現代の国語(2 年 2 単位)、言語文化(1 年 3 単位)、国語表現(3 年 2 単位、4 年 3 単位)、地理総合(2 年 2 単位)、歴史総合(3 年 3 単位)、公共(1 年 2 単位)、政治・経済(4 年 2 単位)、数学 I(1 年 3 単位、2 年 2 単位)、数学 A(3 年 3 単位、4 年 2 単位)、科学と人間生活(1 年 2 単位)、物理基礎(4 年 2 単位)、化学基礎(3 年 2 単位)、生物基礎(2 年 2 単位)、体育(1～4 年各 2 単位)、保健(1～2 年各 1 単位)、芸術 I(工書から 1 つ 3 年 2 単位)、芸術 II(工書から 1 つ 4 年 2 単位)、英語コミュニケーション I(1 年 3 単位、2 年 2 単位)、英語コミュニケーション II(3 年 3 単位、4 年 2 単位)、家庭総合(2～3 年各 2 単位)、情報 I(1～2 年各 2 単位)、人間と社会(1 年 1 単位)、総合的な探究の時間(2～4 年各 1 単位)を履修させており、他にいくつかの自由選択科目もある。

卒業生数・卒業時卒業学年学級数

第 69 回生(平成 29 年 3 月卒業) 36 名、2 学級
第 70 回生(平成 30 年 3 月卒業) 28 名、2 学級
第 71 回生(平成 31 年 3 月卒業) 33 名、2 学級

三修制による卒業 1 名を含む↑

第 72 回生(令和 2 年 3 月卒業) 16 名、1 学級
第 73 回生(令和 3 年 3 月卒業) 25 名、2 学級
第 74 回生(令和 4 年 3 月卒業) 14 名、1 学級
第 75 回生(令和 5 年 3 月卒業) 12 名、1 学級
第 76 回生(令和 6 年 3 月卒業) 6 名、1 学級
第 77 回生(令和 7 年 3 月卒業) 7 名、1 学級
第 78 回生(令和 8 年 3 月卒業) 6 名、1 学級

修学旅行(第 4 学年にて 2 泊 3 日で実施)

平成 28 年 6 月 沖縄 参加生徒 29 名
平成 29 年 6 月 北海道(札幌・小樽・ルスツ) 参加生徒 19 名
平成 30 年 10～11 月 沖縄 参加生徒 28 名
令和元年 11 月 沖縄 参加生徒 13 名
令和 2 年 [中止]
令和 3 年 [中止・代替行事テーブルマナー講習]
令和 4 年 [中止・代替行事荒川ライン下り体験]

令和5年9月 京都・大阪
 (この年のみ3泊4日で実施) 参加生徒 7名
 令和6年5月 沖縄 参加生徒 6名
 令和7年6月 京都・大阪
 参加生徒 5名

定時制教育の歩み

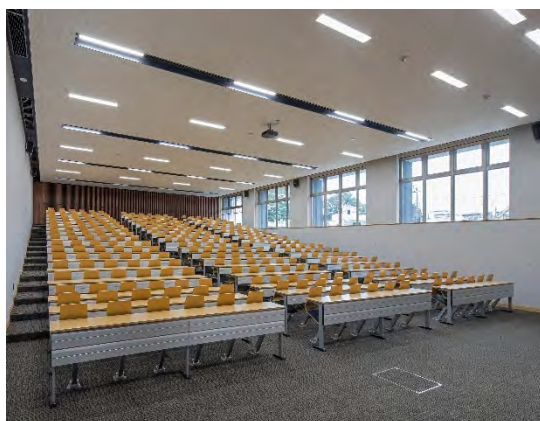
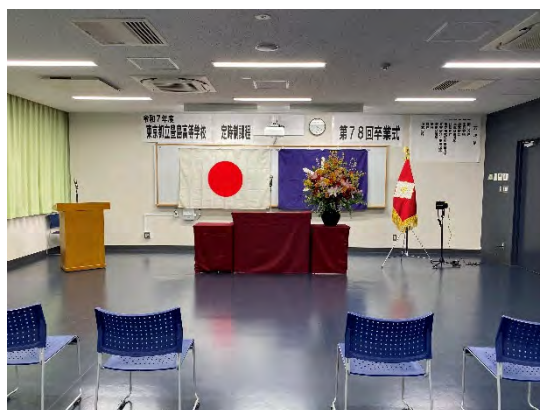
昭和25年の「学校教育法の一部改正」により、勤労青少年のための学校が一括りで定時制課程と称されるようになり、さらに、「働きながら学ぶ青年に対し、教育の機会均等を保障し、勤労と修学に対する正しい信念を確立させ、もつて国民の教育水準と生産能力の向上に寄与するため」に、高等学校の定時制教育及び通信教育振興法が昭和28年に制定されている。

本校定時制課程においては、昭和28年からの約20年間は、毎年100名前後の卒業生を輩出しており、振興法制定の主旨が十分に反映された成果が表れていたといつてよい。

時代が平成に移り、勤労青少年のための教育機関という位置付けに加え、多様なニーズへの対応や再挑戦の場としての役割も求められるようになり、昼夜間定時制高等学校という新しい教育形態が生まれ、多様な形で展開されるようになってきた。そのような背景もあり、昼夜間定時制高等学校等新形態の高等学校への入学希望者が増える一方で、従来型の夜間定時制高等学校の形態を維持している本校への入学者数は、徐々に減少してきた。

近年、特に顕著に見られるのは、外国籍の生徒や外国にルーツを持つ日本人生徒の増加である。校内で飛び交う言語が、英語であったり中国語であったりすることが日常的に見られるようになってきている。

また、近隣高等学校数校における定時制閉課程の影響を受け、入学生数が増加に転じており、生徒数がどんどん増えていくものと予想される。



定時制課程の進路状況と

キャリア教育について

【進路指導部】

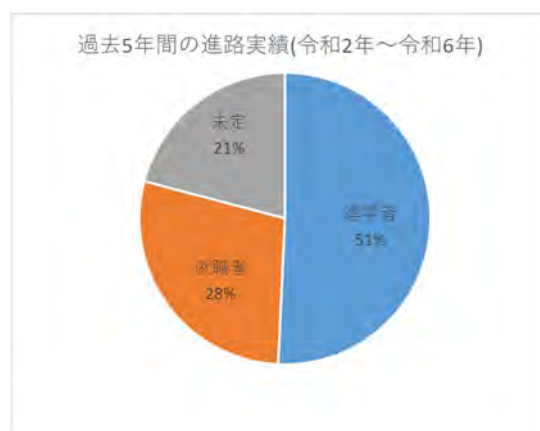
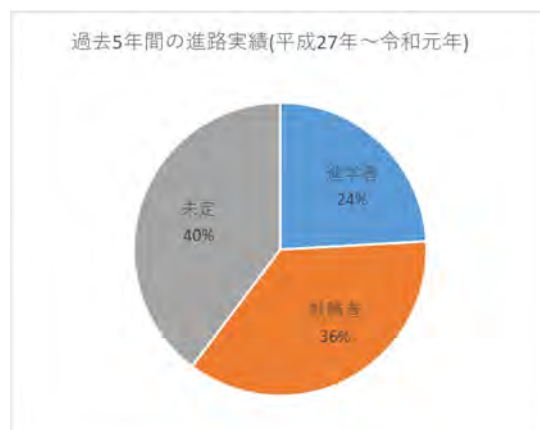
定時制課程 進路指導主任 半田 裕也

進路状況

創立 90 周年を迎えるにあたり、過去 10 年間の本校の進路状況について御報告いたします。

この 10 年を一括してまとめると、進学者、就職者、未定者は約 33% ずつの割合で推移してきました。しかし、10 年をさらに 5 年ずつに区切って分析すると、直近の 5 年において進学者が 51% と大幅に増加し、就職者は 28%、未定者は 21% に減少していることがわかります。進学者の増加については、生徒たちが卒業後、さらに学んでいきたいという意欲の表れではないかと考えています。また、未定者の減少は、生徒一人一人が将来に向けての目標をより明確にもち、進路選択に対して積極的に取り組んでいる証と考えています。

一方、卒業生徒数については、この 10 年間は減少傾向にありました。平成 27 年卒業生は 27 名でしたが、令和 6 年では 7 名となっています。しかし、令和 7 年度 1 学年は在籍数 17 名となっており、増加傾向に転じています。



キャリア教育

10 年間の中で、生徒が志望する進路も変化しています。進路指導を行うにあたり、卒業後の進路を早期に考える機会を与えるだけでなく、10 年後に何を大事にして、何をしたいかという視点で進路を決定する指導を行っていききたいと考えています。

○進路行事

- ・学期ごとの面談と進路希望調査の実施

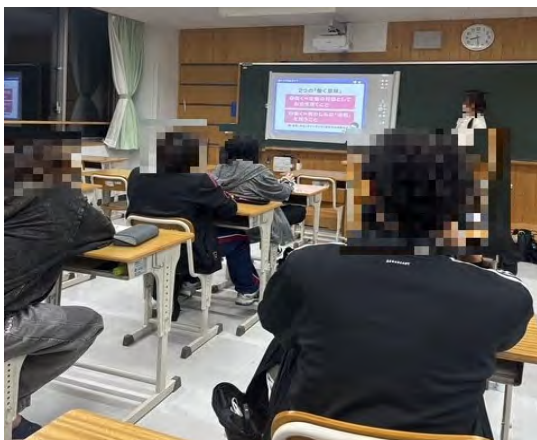
各学期に 2 者面談を実施し、生徒の現状や進路希望をヒアリングしています。また同様に、各学期に進路希望調査を行い、その結果を全教員で共有しています。これにより教員それぞれが持つ知識や情報を活かし、生徒一人一人の進路実現を総合的に支援できる体制を整えています。継続的な面談と情報共有で、生徒の将来を支援していきます。

令和 7 年度 4 月にも進路希望調査を行いました。その結果を以下に示しています。76% が進学、24% が就職を希望しており、進学希望者が多い状況が続いています。

・キャリアガイダンス、キャリア教室

ハローワークや株式会社ライセンスアカデミー、株式会社ジンジブなどの外部機関と連携し、キャリア教育を実施しています。多くの講師による多角的な視点での講座を受けることで、進学と就職のリアルな情報を聞くことができます。また、自己分析を深めることで、生徒が自分の適性や興味を理解し、広い視野で進路選択ができるよう指導しています。

外部機関の専門的なサポートを活用し、多様な進路への理解を促進することで、生徒一人一人の将来設計を支援しています。



・上級学校訪問

上級学校訪問として、1年に3回、職業能力開発センターを訪問しています。訪問を通じて、生徒は多様な職業や進路の可能性について理解を深め、自身の将来を広い視野で考える貴重な機会としています。実際の施設や教育内容に触れることで、進路選択に対する意識が高まり、具体的な目標設定につながっています。



・合同企業説明会、企業説明会への参加

生徒一人一人との面談および進路希望調査でのヒアリングから、その希望に応じて企業説明会への参加を促しています。また、進路選択が漠然としている生徒には、上級学校訪問と併せて合同企業説明会への参加を推奨し、多角的な視点から進路を考えられるよう指導しています。生徒が自身に適した進路を主体的に選択できる環境を整えています。

・面接練習等のサポート

担任と進路部が中心となって面接対策や志望理由書等の支援を行っています。生徒が自分自身の言葉や思いを伝えることを重視する指導で、準備をサポートしています。具体的なアドバイスや模擬面接を通じて、自信をもって進路に臨めるよう取り組んでいます。

今後も、変化する社会環境に対応しながら、生徒の多様な進路希望に応えられるよう、教職員一同努めています。

定時制課程の行事紹介

【生活指導部】

定時制課程 生活指導主任 酒井 葉月

《豊島高等学校定時制 年間行事》

月	行事
4月	入学式 新入生歓迎会
5月	避難訓練① 生徒総会
6月	春季遠足 4年生修学旅行
7月	セーフティ教室① 生徒会レク① 薬物乱用防止教室
9月	避難訓練② 豊高祭（文化祭）
11月	秋季遠足 避難訓練③ 生徒会役員選挙
12月	生徒会レク② スポーツ大会
1月	避難訓練④ 芸術鑑賞教室
2月	4年生を送る会
3月	卒業式 生徒会レク③ セーフティ教室② 防災講話

豊高祭

豊高祭は、都立豊島高等学校定時制において、2学期9月に開催される最も大きな行事です。生徒たちが自らの手で創り上げるこの文化祭は、単なるイベントではなく、仲間とともに歩んだ軌跡そのものです。

1学期から始まる準備期間。実行委員会が立ち上がり、スローガンの決定から企画立案、運営まで、全てを生徒が中心となって進めていき

ます。定時制は1学年から4学年までの単学級編成ですが、それぞれの学年が持つ色と個性が、豊高祭というキャンパスに鮮やかに描かれています。令和7年度のテーマは「十人十色 ～Inspire and Affect a Smile～」の言葉には、一人一人の違いを尊重し、互いに影響し合いながら、笑顔を生み出していこうという願いが込められています。



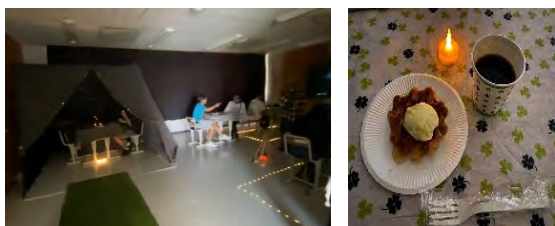
1年生は「フォトスポット」を企画。月と貝殻をモチーフにした幻想的な空間は、来場者の心を惹きつけ、たくさんの笑顔と写真が生まれました。初めての文化祭に挑む1年生たちは、限られた時間と経験の中で、何度も話し合いを重ね、細部にまでこだわり抜いた空間づくりに取り組みました。



2年生は「お化け屋敷 ～SSS 級事故物件～」を企画しました。細部までこだわったリアルな演出により、来場者はまるで本物の事故物件に迷い込んだかのようなスリルを体験しました。暗闇の中で突然現れる演者や不気味な装飾が、悲鳴と笑い声を誘い、会場は終始緊張と興奮に包まれていました。恐怖の演出の裏には、2年生の綿密な準備と情熱が込められており、彼らの創造力が光る企画となりました。



3年生は「カフェ SKY FULL OF STARS CAFE」を企画しました。テントやキャンプファイヤーの柔らかな灯りが揺れ、訪れた人々はまるで夜空の下でくつろいでいるかのような、穏やかな時間を過ごしました。提供されたあたたかいワッフルと香り高いドリンクは、心も体もほっと癒してくれる存在となり、来場者の笑顔を自然と引き出していました。忙しい日常の中で、ほんのひとときでも安らげる場所を届けたい——そんな3年生の優しさと想いが、空間の隅々にまで満ちていました。



4年生は「縁日、襲来〜THE FINAL〜」を企画しました。毎年恒例のこの企画に、今年は“最後”という特別な想いを込め、これまで以上に工夫を凝らし、誰もが楽しめる縁日を創り上げました。最上級生として、1年生から4年間にわたりこの企画に携わってきた彼らは、経験を重ねる中で、企画力・協働力・責任感を着実に育んできました。その成長の軌跡は、細やかな工夫や温かいもてなしに表れており、来場者の笑顔がその成果を物語っていました。仲間との絆、感謝の気もち、そして定時制で過ごした日々の集大成が、縁日という舞台に鮮やかに描かれ、4年生の成長と誇りが輝く企画となりました。



さらに、教科展では、日頃の授業での成果を展示しました。

総合的な探究の時間では、生徒それぞれが興味・関心のあるテーマを深く掘り下げ、A3ポスターにまとめて発表。情報の授業では「横浜マップ」の作成、工芸では「グラスリッツェン」や「くるみのスプーン」、家庭科では「織物の三原組織」を紙で再現し、書道では力強く美しい作品が並びました。どの作品にも、生徒たちの真剣なまなざしと、学びへの誇りが感じられました。



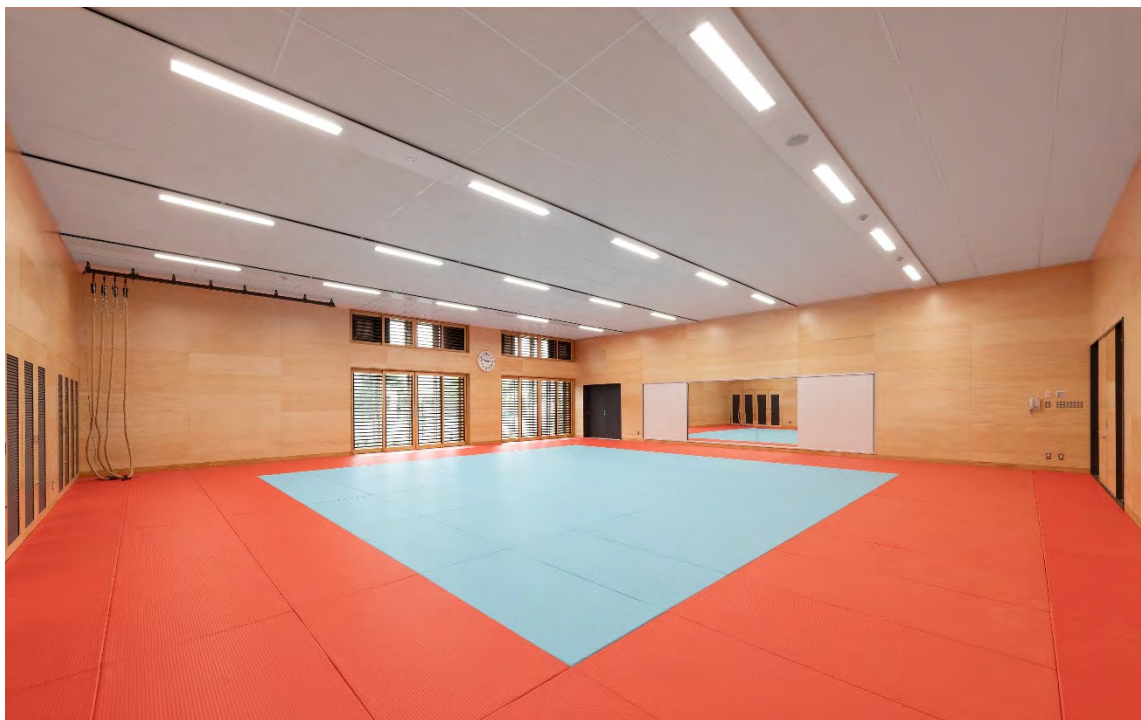
文化祭は、2日間にわたって開催されました。

1日目は、開会式から始まりました。各学年の代表生徒が、ホワイト看板を使って自分たちの企画を堂々とPRする姿は、緊張の中にも自信と誇りが感じられました。言葉に詰まりながらも、仲間の応援を背に一步踏み出す姿は、まさに成長の瞬間。その姿に、会場全体が温かい拍手を送りました。

2日目は、校内公開と一般公開が行われました。生徒の御家族や友人、近隣中学校の生徒、本校の卒業生など、多くの方々が来校し、校内は笑顔と感動に包まれました。来場者と生徒が言葉を交わし、作品や企画を通して心を通わせるその光景は、文化祭の本質を物語っていました。

生徒たちは、自分自身の「色」を恐れずに表現し、仲間とともに一つの大きな作品を創り上げました。その姿は、まさに「十人十色」のスローガンそのもの。互いの違いを認め合い、支え合い、笑顔を生み出す力を持つ。それが、豊高祭の本当の価値です。

生活指導部として、そんな生徒たちの挑戦と成長を間近で見守ることができたことは、何よりの喜びであり誇りです。文化祭は終わっても、そこで得た経験と絆は、これからの人生の中で確かな力となって生徒たちを支えてくれることでしょう。



職員 在籍一覽

職 員 在 職 一 覧 (全 日 制)

教 科	氏 名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
校 長	林 眞 司										
	大 山 敏										
	原 田 能 成										
	堀 口 俊 英										
副 校 長	江 川 徹										
	飛 田 丞										
	北 江 繁 治										
	杉 山 智 子										
国 語	松 村 貴 代										
	工 藤 勝 彦										
	細 田 裕 美										
	若 井 尚 子										
	濱 上 圭 子										
	糸 井 明 子										
	小 嶋 広 行										
	奥 間 透										
	浅 井 健 伍										
	神 林 玉 青										
	菅 原 泰 樹										
	鈴木 素 子										
	渡 邊 悠 太										
	永 井 充 弓										
	八 百 板 真 弓										
	田 中 ま ど か										
	中 平 枝 里 子										
	葭 田 智										
	佐 藤 正 代										
	田 口 樹 里										
	久 保 咲 花										
	竹 田 瑞 季										
	星 野 陽 子										
	井 上 千 鶴										
	近 藤 祥 世										
	稲 田 果 夏										
	橋 本 裕 規 子										
	阿 部 愛 美										
	西 本 愛 実										
	遠 藤 千 空										
地 理 ・ 歴 史	阿 部 悠 人										
	黒 田 千 代										
	澤 木 考 耶										
	吉 田 洋 子										
	下 出 康 彦										
	安 齋 遼 平										
	山 下 悠 哉										
	内 野 俊 和										
	藤 井 恵 子										
	小林 趙 史										
	鈴木 恭 子										
	楠 晋 平										
	黒 澤 俊 夫										
	金 森 亜 希 子										
	青 山 泉										
	鈴木 章 弘										
	難 波 伸 一										
	石 黒 保 憲										
	八 木 秀 明										
公 民	宮 路 み ち 子										
	井 上 広 大										
	磯 村 健 二										
	青 野 洋 平										
数 学	雨 宮 博 一 子										
	池 田 恵 子										
	兼 近 光 明										
	木 俣 隆 史										

職 員 在 職 一 覧 (全 日 制)

教 科	氏 名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
数 学	佐 藤 博										
	武 田 亮										
	早 崎 秀 明										
	藤 井 孝 貴										
	柳 沢 勇 貴										
	齋 藤 隆 徳										
	和 田 英 明										
	梅 川 由 美 子										
	木 村 博 美										
	堀 井 健 史										
	小 野 澤 敦										
	古 川 泰 昭										
	柿 原 正 見										
	齋 藤 司										
	手 柴 育 恵										
理 科	中 村 偉 皇										
	青 柳 郁 哉										
	阿 部 真 里 子										
	鎌 田 裕 明										
	工 藤 あ ゆ み										
	西 山 政 人										
	濱 島 裕 輝										
	佐 藤 功										
	清 水 良 男										
	石 川 真 理 代										
	山 下 弘 之										
	大 河 原 淳 平										
	高 橋 順										
	田 嶋 一 利										
	中 島 由 貴 彦										
保 健 体 育	越 後 邦 彦										
	清 水 正 弘										
	風 間 孝 二										
	浅 賀 樹										
	中 村 健 吾										
	小 林 颯										
	石 井 琢 磨										
	緒 方 崇 尚										
	沖 野 弘 紀										
	佐 川 美 人										
	丹 羽 健 一										
	野 村 彰 浩										
美 術	岩 崎 克 弥										
	田 代 明 彦										
	村 田 智 史										
	山 下 遥 乃										
	栗 山 孝 幸										
	矢 澤 良 之										
	堀 飯 豊										
	身 内 照 江										
	新 井 純 子										
	城 田 美 咲										
	白 井 友 貴										
	植 場 光 平										
英 語	丑 久 保 英 世										
	大 槻 雅 子										
	笠 井 修										
	清 水 知 子										
	中 村 正 春										
	藤 丸 俊 宏										
	宮 崎 幸 子										
	本 尾 千 津 子										
	水 上 敦 哉										

職 員 在 職 一 覧 (全 日 制)

教 科	氏 名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
英 語	桑 原 浩 司										
	菅 原 敦 之										
	酒 井 友 実 子										
	東 祥 三										
	上 田 萌 悦 子										
	松 本 梨 菜										
	久 末 史 代										
	栗 原 孝 裕										
	後 藤 優 美 子										
	岡 崎 由 美 子										
	堀 井 怜 子										
	谷 川 聖 司										
	吉 野 一 真										
	貫 井 昭 子										
	松 井 幸 子										
	久 保 田 佳 海										
	柳 田 ひ より										
	西 田 幸 弘										
	内 田 真 由 美										
	川 田 康 介										
	長 澤 亜 美										
家 庭	抱 山 咲 子										
	松 尾 幸 弘										
	村 瀬 恵 美										
情 報	戸 崎 秀 之										
	中 村 規 予 美										
	秋 山 紗 綾 香										
養 護	黒 田 英 子										
	武 田 誠										
	林 紀 子										
	羽 岡 雪 野										
	中 村 紗 矢 香										
	堀 井 美 穂										
学 校 経 営 支 援	石 川 結 希										
	白 鳥 亜 希 子										
副 校 長 マ ネ ジ ム ン ト 支 援 員	有 明 得 良 人										
	大 塚 雅 一										
J E T	森 田 明 夫										
	ジャニス・ディラン										
	Amanda Liang										
	Amanda Burris										
講 師 (国 語)	Cornwall Isheba										
	梅 田 倫 子										
	伊 東 成 師										
講 師 (地 歴)	橋 田 倫 子										
	内 崎 暁										
	原 裕 子										
講 師 (公 民)	舟 久 保 大 輔										
	奥 沢 知										
	永 田 農 治										
講 師 (数 学)	坂 上 悠										
	舟 久 保 大 輔										
講 師 (生 物)	大 和 田 薫										
講 師 (生 物)	今 井 將 道										
講 師 (物 理)	瀬 名 波 満										
講 師 (美 術)	茂 木 麻 里										
講 師 (美 術)	手 塚 小 雪										
講 師 (美 術)	佐 川 舞 実										
講 師 (音 楽)	小 山 一 雄										
講 師 (書 道)	山 中 淑 江										
講 師 (英 語)	望 月 希 依										
講 師 (家 庭)	内 田 結 香										
	石 井 順 子										
	吉 弘 香 苗										

職 員 在 職 一 覧 (全 日 制)

教 科	氏 名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
講 師 (情 報)	柴 沼 明 奈										
	木 村 輝 夫										
	布 村 寛										
非 常 勤 職 員 (SC)	櫻 井 由 史										
	木 下 敦 子										
	小 林 道 代										
非 常 勤 職 員 (ICT)	山 田 奈 央										
	相 澤 拓 也										
	坂 口 実										
経 営 企 画 室 長	大 関 利 治										
	小 原 一 晃										
	小 川 桂 子										
	正 里 美										
経 営 企 画 室 職 員	樟 山 美 穂										
	阿 部 友 美										
	鮎 川 浩										
	倉 澤 宏 和										
	山 田 京 平										
	岡 野 祐 大										
	白 岩 正 信										
	片 桐 晶 美										
	岡 樹 季										
	田 島 有 理 子										
	福 岡 泰 良										
	牛 島 楽 人										
	野 田 真 理 子										
	江 崎 千 登 世										
	須 川 峻 介										
	林 真 尋										
司 書	岡 部 英 恵										

職 員 在 職 一 覧 (定 時 制)

教 科	氏 名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
校 長	林 眞 司										
	大 山 敏										
	原 田 能 成										
	堀 口 俊 英										
	江 川 徹										
副 校 長	浜 崎 伸 一										
	井 上 裕 子										
	関 口 靖										
	中 島 聡 司										
	佐々木 輝										
国 語	須 知 結 太 郎										
	本 領 弘 之										
	小 沢 貴 雄										
	井 上 さ つ き										
	牛 野 恵 志										
地 歴・公 民	亀 山 彰 洋										
	庭 田 隆 弘										
	北 浦 啓										
	牛 島 庸 介										
	佐 藤 理										
数 学	石 渡 久 枝										
	越 部 守 之										
理 科	武 田 勉										
	須 藤 美 枝										
	磯 田 有 成										
	石 神 剛 史										
	半 田 裕 也										
保 健 体 育	酒 井 時 彦 士										
	神 山 昂 士										
	宮 澤 賢 一										
	高 松 直 樹										
	酒 井 葉 月										
	青 木 涼 輔										
英 語	小 野 雅 之										
	伊 藤 久 雄										
	伊 藤 和 子										
	福 谷 輝 夫										
	藤 武 秀 和										
養 護	佐々木 智 春										
	関 口 久 恵										
経 営 企 画 室 長	大 関 利 治										
	小 原 一 晃										
	小 川 桂 子										
	正 里 美										
司 書	鹿 児 島 晃 久										
副校長マネジメント支援員	森 田 明 夫										
栄 養 士	金 子 直 子			R元年度以降未配置							

【編集後記】

本誌は、平成 28 年度から令和 7 年度の 10 年間の取組をまとめることを重視しながら、今後の教育活動に役立てようと考えて作成しました。

この 10 年間を振り返ると、本校は旧校舎→仮設校舎→新校舎（現校舎）と大きな変化がありました。また、社会的にはコロナ前→コロナ禍→コロナ後という生活スタイルが大きく変化する出来事がありました。本校を取り巻く大きな変化は、本校の教育活動にも影響を与えました。入学者選抜においては全都立高等学校の中でも屈指の高倍率となり、大学合格実績も右肩上がりになっています。授業では、生徒たちは自分の個人端末 PC を使って様々な学習に取り組んでいます。10 年前は授業内でのスマホ禁止が普通であったことを考えると、生徒たちの学ぶ環境の変化に驚かすにはいられません。まさに隔世の感です。

次の 10 年はどんな 10 年間なのでしょう。10 年後は豊島高等学校創立 100 周年です。今よりもさらに発展した豊島高等学校になっていることと思います。

最後に、本記念誌の作成にあたりまして、寄稿をしていただきました現旧教職員、生徒、PTA、同窓会、その他多くの関係者の皆様に、感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和 8 年 6 月 90 周年委員会一同

東京都立豊島高等学校 創立 90 周年記念誌

令和 8 年 6 月 発行

編集・発行 東京都立豊島高等学校
〒171-0044
東京都豊島区千早 4-9-21
TEL：03（3958）0121
FAX：03（3959）8590

印刷 株式会社 三誠社
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-22-4

